

高等常小學校手工製作圖

福岡第一師範
(學校圖書)

登錄第
番

門部

部

項目

次

全 1 冊ノ内第 1 冊

分類第
番

372.75

號



圖書 和圖書 遡



a 1380329972 a

福岡教育大学蔵書

全

福岡縣師範學校

圖 門 工 手 書

部

番

號

43

冊ノ内

MADE IN JAPAN

STAIN

高等尋常小學手工製作圖

全



序

本年三月勅令第六十三號ヲ以テ小學校令ヲ改正セラレ尋デ尙文部省令第十一號ヲ以テ小學校令施行規則ヲモ改正セラレ手工科ハ農商ノ二科ト共ニ小學ノ必修科トナリタルヨリ手工研究ノ聲頓ニ高ク該科教員養成ノコト急ヲ告グルニ際シ文部省ハ本月二十五日ヨリ八月十四日マデ本科ノ夏季講習會ヲ開設シ予等ニ命ズルニソノ講師タルコトヲ以テセラレタリ然ルニコノ際予等ガ任務ヲ果スニ最モ不便ヲ感ズルコトハ之ニ使用スベキ適當ノ著書ヲキニアリ蓋シ講義ノ筆寫ニ多クノ時間ヲ費スユトノ不利益ナルハ普通ノ學科ニ於テ尙然リ況ヤ本科ノ如キノ事實ノ取扱ハ多クハ確實ナル圖ノ方便ニ依ラザルベカラザルモノニ於テオヤ是本稿ヲ起スニ至リシ所以ナリ

本書記載スル所ノ圖ハ著者ガ實驗ニ徴シ小學校ノ手工教材トシテ適當ト

375.72
Sh 95

認メタル所ノモノ、ミニシテ手工ノ骨子トモ稱スベク速成ヲ期スル所ノ講習會ニ於テハ勿論又本科ノ獨習或ハ教授ノ資料トシテ最便宜ノモノニ屬ス
本書起草ノ初メハ單ニ之ヲ紫摺ニ附シテ講習會員諸君ニ頒タントノ考案ナリシモ該印刷ノ不鮮明ニシテ予等ノ希望ヲ滿ス能ハザルト又本書ニ記載スル所ノ如キ材料ヲ他ヨリ渴望セラル、コトノ頻繁ナルトニ因リテ半途ソノ計畫ヲ變シ上梓シテ之ヲ世ニ公ニスルコト、シタルナリ
本書ノ草稿ハモト如上ノ目的ニ出デ頗ル粗笨ナリト雖今日焦眉ノ急ヲ救フ上ニ於テ幾分ノ利益アルベキヲ信ズ

明治三十六年七月

著 者 識

第一版序

本書初版ハ匆卒ノ際ニ成リシガ故ニ原圖頗ル粗笨ナリシノミナラズ且ツ校正精密ナル能ハズ爲ニ數多心付タル誤謬ヲモソノマ、ニ看過シタリキ今再版ヲ發行スルニ方リ誤謬ヲ訂正シ且ツ教授ノ要領及ビ教材配當等ニ關スル一文ヲ添ヘ以テ本書運用ノ參考ニ供セリ

明治三十六年十月

著 者 識

目次

緒言

手工教授ノ目的、手工教材ノ選擇、各種手工教材ノ特質
及ピソノ取扱ノ要旨、手工教材ノ排列、手工教材配當ノ
綱領

第一章

色板排べ

第二章

豆細工

第三章

粘土細工

第四章

折紙細工

第五章

紙撚

第六章

紐結

第七章

製本

第八章

切貫細工

第九章

縫取

第十四章	鑄型細工	以上
第十三章	金工	
第十二章	木工	
第十一章	竹細工	
第十章	厚紙細工	

緒言

第一 手工教授ノ目的

手工教授ハ、眼及ビ手指ヲ練磨シ、物品ヲ正確ニ製作スル技能ヲ得シメ、工具ノ構造及ビ使用、材料ノ品類及ビ性質ニ關シテ、日用普通ノ智識ヲ授ケ、且ツ審美ノ情及ビ實業愛好ノ念ヲ涵養シ、兼テ勤勉勞働自治等ノ習慣ヲ得シムルヲ以テ目的トス

第二 手工教材ノ選擇

手工教授ノ目的トスル所前項ノ如クナルガ故ニ、ソノ教材ハ狹キ範圍内ニ於テヨリハ寧ロ廣キ範圍内ニ於テ選擇シ、一二ノ細工ニ熟練セシメンヨリハ寧ロ各種ノ細工ヲ課シ、成ルベク種々ノ材料及ビ工作法ニ接セシメテ、技能ノ一般的基础ヲ養成センコトヲ期セザルベカラズ、コノ立場ヨリ考察スルトキハ尋常科ニ於テハ、幼稚園ノ手技ニ於ケルガ如キ色板排べ、豆細工粘土細工、折紙ノ如キ最モ簡易ナルモノヨリ始メ、切貫、紙撚、紐結、製本、厚紙細工、又女子ノタメ

ニハ縫取等、漸次複雑且ツ實用的ノモノニ及ビ、高等科ニ於テハ、尋常科ニ於ケル切貫、粘土細工、厚紙細工、製本等ヲ一層擴張シ、之ニ加フルニ竹細工、木工、金工、鑄型細工等ヲ以テスルヲ可トス

第三 各種手工教材ノ特質及ビソノ取扱ノ要旨

一 色板排べ ハ諸色ノ骨牌ヲ排列換置スルコトニ依リテ、種々ノ形狀ヲ作ラシメ、以テ眼及手ヲ練磨シツ、形ト色トニ關スル觀念ヲ啓發センコトヲ圖ルモノナリ、サレバ色ニ就キテハ、ソノ名稱異同及配合ノ如何ヲ知ラシメ形ニツキテハ、各部ノ割合ト全躰ノ恰好トノ關係ヲ知ラシメンコトニ、注意シテ授クルヲ要ス。

二 豆細工 ハ柔軟ナル豆ニテ籤ヲ接合シテ、幾何形躰、器具、建物等ヲ摸造スルモノニシテ、ソノ特色ハ製法ノ最簡便ニシテ、兒童ガ各自ノ觀念ヲ容易ニ形躰ニ發表シ得ルト、コノ細工ニヨリテ製作セル物躰ガ、之ヲ圖畫トシテ現ハスニ、最便利ナル構造ヲ具フルトニアリ、故ニコノ細工ニ於テハ、兒童ヲシ

テ新奇ノ形ヲ工夫セシメ、又ソノ製作品ノ見取圖ヲ畫カシムルコトニ力ヲ用フルヲ肝要トス。

三 粘土細工 ハ粘土ヲ用ヒテ幾何形、花紋器物、動植物等ノ形狀ヲ平面或ハ立躰ニ造ルモノニシテ、物躰ノ形狀及面ノ凹凸深淺ニツキテ、ソノ調和ヲ探究セシメ、以テ手眼ヲ練リ美感ヲ發達セシムルヲ以テ旨トス、コノ細工ハ、材料柔軟添削自在ニシテ、千態萬狀ノ形躰ヲ兒童ノ發達階段ニ應ジテ、自在ニ發表スルコトヲ得テ、幼者モ難トセズ、長者モ易トナサズ、各充分ノ技倆ヲ試ミ得ベキ特色アルモノニシテ、殊ニ一般兒童ノ嗜好ニ適シ、手眼ノ教育上頗ル重要視スベキモノトス。

四 折紙 ハ白紙或ハ色紙ヲ折りテ、兒童ノ容易ニ了解表出シ得ベキ形躰ヲ摸造セシムルモノニシテ、ソノ形狀及材料タル、紙ノ組織及色ニ就キテ視覽觸覺ヲ練磨シ、又折方ノ順序ノ整正ナルコト、形狀ノ端正ナルコト等ニヨリテ、精密清潔注意等ノ習慣ヲ養フノ効アルモノナリ。

五 紙撚 ニ於テハ紙ヲ撚リテ小撚觀世撚ヲ作ルノ技能ヲ得シメ、手指ノ運用ヲ練リ、絲紐綱等ノ纖維ニ對スル觀念ヲ確メ、兼テ節約利用ノ方法ヲ知ラシメンコトニ注意スルモノトス。

六 紐結 ハ手眼ノ練磨ヲ計ルト同時ニ、裝飾上ノ結ビ方及ビソノ應用ニヨリテ美感ヲ養ヒ、又諸種ノ實用上ノ結方ニヨリテ、日用ノ利便ヲ與フルヲ旨トス。

七 製本 ハ各兒童ノ用フル草紙、作文帳、算術帳等書冊帳簿ノ製法ヲ授クルモノナリ、コノ細工ニ於テハ、兒童日常ノ利便ヲ圖ルト共ニ、自爲獨立ノ氣風ヲ養ヒ清潔整頓ノ習慣ヲ助長セシムルコトニ注意ス。

八 切貫 ハ紙片ヲ缺又ハ小刀ニテ切斷シテ、平面上ニ於ケル幾何形若クハ模様紋形等ヲ製作スルモノニシテ、手眼ヲ練磨シ意匠ヲ練ルノ外、實業上及學術上必須ナル幾何學上ノ觀念ヲ、正確ニ且ツ容易ニ兒童ニ與ヘ得ルノ便益アルモノナリ、故ニ時機アル毎ニ幾何學上ノ名稱ヲ教ヘテ平面形ノ區別

種類及主要ナル性質ヲ知ラシメ、兼テ綿密ノ習慣ヲ養フコトニ注意スルモノトス。

九 縫取 ハ色糸ニテ種々ノ模様、器具、動植物ノ形狀、風景等ヲ厚紙ニ刺繡セシムルモノニシテ、手眼ヲ練リ美術思想ヲ養ヒ綿密ノ習慣ヲ長シ、兼テ運針ノ自由ヲ圖リ、以テ來學年ヨリ課スル所ノ裁縫科ノ豫備ヲナサシムルモノトス。

十 厚紙細工 ハ厚紙ヲ切斷シテ平面形ヲ作り或ハ是等平面形ヲ接合シテ幾何立躰或ハ實用ノ箱等ヲ作ルモノニシテ、手眼ヲ練磨シ、又物尺度圓規三角定規ノ使用ニ練熟セシメ、精密ノ習慣ヲ養フノ外、平面及立躰ニ於ケル幾何學上ノ觀念ヲ、正確ニ且容易ニ兒童ニ授ケ得ルノ便益アルモノナレバ、前項ノ切貫ト共ニ、小學教育上必要ニシテ而モ現時ノ實況ニ於テハ、缺如スル所ノ幾何學上ノ智識ヲ供給シ、同時ニソノ應用ヲ知得セシムル所ノ特長アリ、又コノ細工ニ於テハ材料ニ及物ヲ下スノ前、必先之ニ精密ナル剖展圖ヲ

畫クヲ要シ、又コノ細工ニヨリテ製作セル物品ハ、之ヲ投影圖ニ現ハスニ便利ナルガ故ニ、特ニ幾何畫トノ聯絡ヲ圖ルベク、又幾何畫ヲ課セザル所ニ於テハ、コノ細工中適當ノ時機ニ於テ、ソノ一端ヲ知得セシメンコトヲ圖ルベキモノトス。

十一 竹細工 ハ竹材ヲ以テ種々ノ日用品或ハ物理的ノ玩具等ヲ作ラシメ兼テ竹材ノ堅韌ニシテ彈力ニ富メルコト、纖維ノ縱直ニシテ縱割シ易ク、且彎曲性ニ富メルコト、表皮ノ滑カニシテ鉋削ノ要ナク自然ニ美觀ヲ供フルコト、内部空虛ニシテ天然ニ一種ノ管狀ヲナシ、能ク負荷ニ堪ヘ、或ハ器物トナスニ便ナル等、竹ノ工業的特性ヲ知ラシムルヲ旨トス。

十二 木工 ハ簡易ナル設備ニ依リテ、指物ノ初步ヲ練習シテ、主要ナル木工具ノ使用法ニ熟セシメ、ソノ間ニ數學、理科、及圖畫ニ關スル智識ヲ正確ニスルモノナリ、吾人ノ住家及ビ日用ノ器物ハ、主トシテ木材ヨリ成ルガ故ニ、ソノ技術ノ大意ニ通スルトキハ、生活上利便ヲ享クルコト少カラズ、殊ニソノ

工具ノ構造使用及ビ材料ノ性質ニ關スル事項ハ、理科ニ、ソノ製作法ハ、幾何學ノ原則ニ、又ソノ形相ハ美術ニ關スルモノ多キモノアレバ、時機アル毎ニソノ要點ヲ指摘シテ、ソレ等ノ觀念ヲ確實ニセンコトヲ肝要トス。

十三 金工^①ハ簡易ナル設備ニ依リテ、主トシテ針金細工板金細工等ヲ授クルモノニシテ、ソノ要旨ハ木工ト異ナルナシ、蓋金工ノ實施ハ、小學校ニ於ケル手工トシテハ稍難キニ過グルノ嫌アルガ如クナレドモ、實際ニハ必シモ然ラザルモノアリ、コレ金屬ガ伸展壓縮ノ性ニ富ミテ、工作上補正改作ニ便ナルト、ソノ用具ガ、木工具ノ如クニ尖銳ナルヲ要スルモノ少キトニ依リテナリ、金工ガ吾人ノ生活上必須ナル技能タルコトハ素ヨリ言フヲ俟タズ。

十四 鑄型細工 ハ燒石膏ヲ水ニ混シテ、泥狀ニナシ、之ヲ鑄型内ニ凝固セシメテ、鑄金工ノ方法ヲ擬セシムルモノナリ、コノ細工ハ最巧ミナル方便ニ依リテ、物躰ヲ幾個トモナク同一ニ且ツ容易ニ製作スルコトヲ得ルモノニシテ、想像工夫ノ力ヲ練リ、實業ノ興味ヲ惹起セシムルニ於テ、利益多キモノナ

375.72
Sh 95

リ。

第四 手工教材ノ排列

本書ニ記載スル所ノ教材ハ或ハ細工ノ種類ノ難易ニ依リテ順序ヲ立テ例ヘバ先ヅ色板排ベテ終リテ後ニ豆細工ヲ課シ、豆細工ヲ終リテ次ニ折紙ヲ課スルトイフガ如クニ、一種類ヅ、階段的ニ排列スベキカ、或ハ最初ヨリ之等ノ諸細工ヲ混合シテ一團ニ組織シ、細工ノ種類ノ何タルヲ論ゼズ、一ニ製作品ノ難易ノ順序ト自然ノ必要トニ依リテ排列スベキカハ研究ヲ要スルコトナリ、後法ノ合理的ニシテ前法ニ優ルコトハ論ヲ待タズ、然レドモ全クコノ法ニ依ルトキハ、製作上各種類ニ固有ナル形式ヲ追ヒテ進ム上ニ於テ、時ニ不利益ナルコトアリ、又材料工具ヲ整頓スル上ニ於テ繁雜ヲ來スチ免レザルコトアリ、故ニコノ兩法ヲ折衷シテ、教授上アマリ前後ノ連絡ヲ缺クコトナク、又管理上大ナル混雜ヲ來サマル限リニ於テ、相當ニ細工ノ種類ヲ變換混合シテ排列スルヲ要ス、即チ幼童ニ課スベキ製法簡單ニシテ、工具ノ如キモ主トシテ、尺度、鋏、小

八

刀、三角定規等何種ノ細工ニモ共通ナル、少數ノモノニテ足ルベキ細工ハ成ルベク時々ソノ種類ヲ變更スベク、之ニ反シテ高級ノ兒童ニ課スベキ細工ニシテ多數ノ工具ヲ要シ、又製作ノ順序トシテ、ソノ細工ニ於ケル固有ノ形式ヲ追フコトノ嚴密ナルヲ要スルモノハ、成ルベク、ソノ種類ヲ變換セザルヲ宜シトス

第五 手工教材配當ノ綱領

左ニソノ組織ヲ異ニスル數種ノ小學校ニ對スル、手工教材配當ノ綱領ヲ掲ゲテ、本書收ムル所ノ教材ノ如何ナル種類ガ如何ナル時機ニ於テ教授セラルベキカヲ示シ、以テ世ノ教員諸君ガ便宜ソノ學校ニ適スル教授細目ヲ編纂セラレ、ノ參考ニ供スベシ

九

375.72
Sh 95

(第一號) 多級制 尋常科一學年乃至高等科第四學年

木	竹	縫	製	厚	紐	紙	切	折	粘	豆	色	千	學年及		
													工	學期	
工	工	取	本	工	結	燃	工	工	工	工	工	工	工	工	第一學年
															第二學年
															第三學年
															第四學年
															第一學年
															第二學年
															第三學年
															第四學年
															第一學年
															第二學年
															第三學年
															第四學年
															計

金	鑄	計
工	型	工
工	工	工
一八	四六	六四

備考 尋常科第四學年第一學期マデハ男女共ニ課シ同年第二學期ニハ男兒ニハ切貫厚紙ノ
 二細工、女兒ニハ切貫縫取ノ二細工ヲ課シ又同年第三學期ニハ男兒ニ切貫厚紙ノ二細工、女兒
 ニ縫取ノミヲ課シテ裁縫ノ準備トナス而シテ高等科ハ總テ男兒ノミニ課シ女兒ニハ裁縫ヲ
 授クルモノトス
 各學年トモ教授時數ヲ每週二時ト定メ又第一學期ヲ十六週、第二學期ヲ十五週、第三學期ヲ
 九週ト假定ス
 各欄内ノ日本數字ハ教授時數ヲ示シ、ソノ肩ニ附記セル算用數字ハ教授ノ順次ヲ示ス(以下
 倣之)

375.72
Sh. 95

(第四號) 多級制 高等科第三、四學年

甲 表

計	金工	木工	竹細工	厚紙細工	粘土細工	學年及學期	
						第三學年	第四學年
〃	〃	〃	〃	〃	〃	一	二
〃	〃	〃	〃	〃	〃	二	三
〃	〃	〃	〃	〃	〃	一	二
〃	〃	〃	〃	〃	〃	二	三
計	二七	九三	二七	四五	四八		

乙 表

計	竹工	厚紙細工	切貫	粘土細工	學年及學期	
					第三學年	第四學年
〃	〃	〃	〃	〃	一	二
〃	〃	〃	〃	〃	二	三
〃	〃	〃	〃	〃	一	二
〃	〃	〃	〃	〃	二	三
計	四七	八〇	三五	七八		

備考 甲乙ノ二表トモ各學年ノ教授數ヲ每週三時間ト定ム但シ各學期間ノ教授週數ハ第一號表ニ定ムル所ニ同ジ
乙表ハ手工教室ノ設備ナキ學校ニ適用スルヲ旨トシテ掲載セリ

高等科第一、二學年乃至高等科第四學年

計	金工	鑄型細工	木工	竹細工	縫取	製本	厚紙細工	切貫	紐結	紙燃	粘土細工	學年及學期	
												甲年度	乙年度
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	一	二
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	二	三
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	一	二
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	二	三
計	五〇	三〇	八〇	三八	一八	二八	八〇	四〇	三〇	一六	八八		

備考 尋常科ハ男女共ニ課シ、高等科ハ女兒ニハ裁縫ヲ授ケ、本科ハ男兒ノミニ課ス
 毎週ノ教授時數及ビ毎學期ノ教授週數ハ第一號表ニ定ムル所ニ同ジ
 二學級ツ、ヲ合セテ一組トナシ同一ニ教授スルガ故ニ主トシテ同程度異種ノ材料ヲ甲年
 度乙年度ノ二様ニ配當シテ隔年ニ教授ス、尤モ教授ノ際上級生ニハ附加的課業ヲ加ヘ、若クハ
 多少ソノ程度ヲ高メテ作ラシムルコトアリ、但シ粘土細工ハ長幼トモ各ソノ力ニ應ジテ同一
 ノ材料ニ充分ノ技倆ヲ現ハサシムルヲ得ルヲ以テ特ニ甲、乙兩學年度ニ配當セリ

(第六號) 單級制 尋常科一學年乃至高等科第二學年

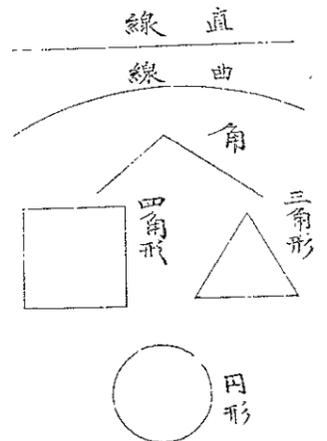
計	竹 細 工	製 本	厚 紙 細 工	紙 燃	切 貫	折 紙	粘 土 細 工	豆 細 工	色 板 排	尋常科		高等科		計
										甲年度	乙年度	甲年度	乙年度	
一六							八 ¹		八 ²	一	二	一	二	計
一五						八 ¹			七 ²	二	三	二	三	
九						九				三	一	二	三	
一六							八 ¹	八 ²		一	二	一	二	
一五							七 ¹	八 ²		二	三	二	三	
九								九		三	一	二	三	
一六						八 ²	八 ¹			一	二	一	二	
一五						七 ²	八 ¹			二	三	二	三	
九						九				三	一	二	三	
一六							八 ²	八 ¹		一	二	一	二	
一五							八 ²	七 ¹		二	三	二	三	
九							九			三	一	二	三	
三			一六 ²				二六 ¹			一	二	一	二	
三			三〇							二	三	二	三	
一八			一八							一	二	一	二	
三			二〇 ²			三 ¹				二	三	二	三	
三										二	三	二	三	
一八										二	三	二	三	
四八		二〇	六四	一六	三七	三三	六二	二五	一五					

備考 尋常科ハ男女共ニ課シ、高等科ハ女兒ニハ裁縫ヲ授ケ、本科ハ男兒ノミニ課ス

高等尋常小學手工製作圖

第一章 色板排べ

圖一 第 稱名ノ形

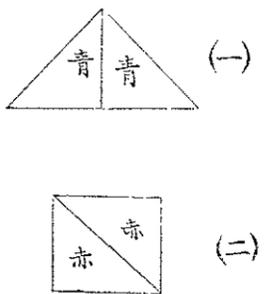


圖二 第 (色原) 稱名ノ色



圖三 第

形角四及形角三ノ大



(三)



(四)



(五)

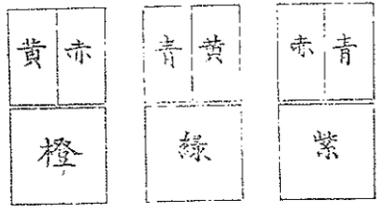


(六)



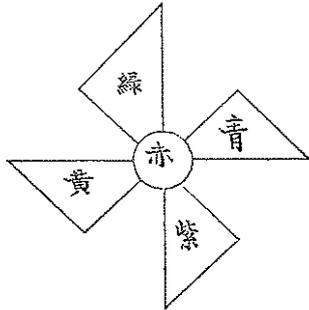
圖四 第

(色間) 稱名ノ色



上原六四郎 岡山秀吉 共著

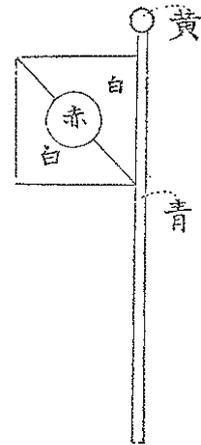
圖七 第
車 風



圖六 第
陽太 山士富



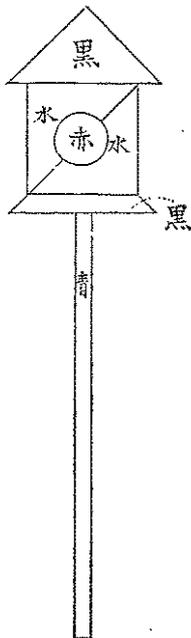
第五圖
國旗



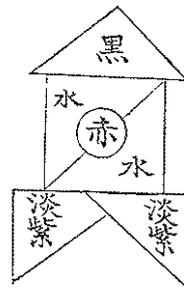
(色淡) 称名ノ色 圖八第

白黑	白赤	白橙	白黄	白綠	白青	白紫
鼠或灰	桃	淡橙	卵	淡綠	水	淡紫

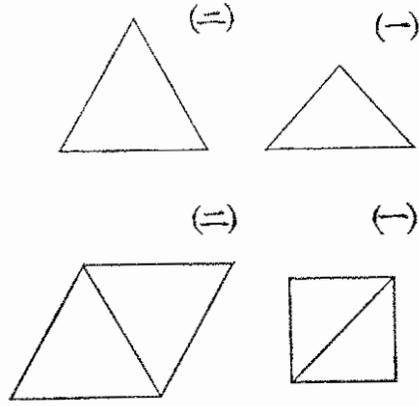
第一圖
街燈



第九圖
雪見燈籠



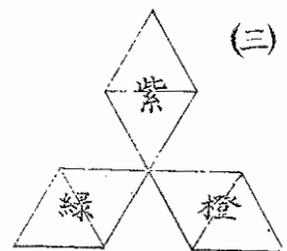
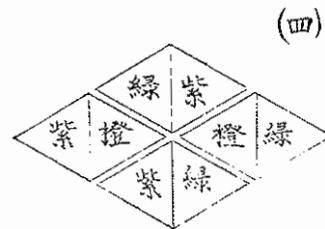
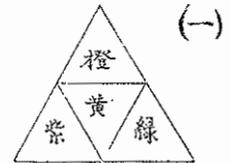
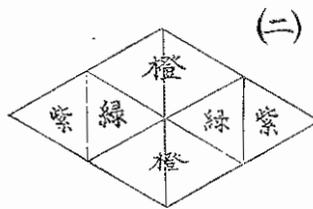
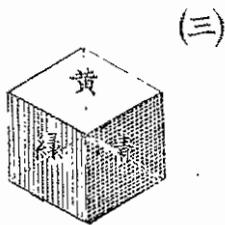
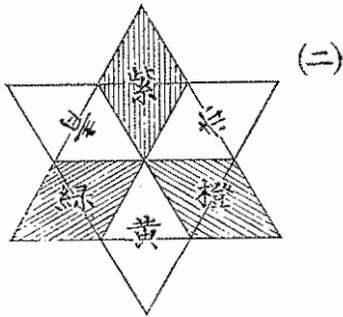
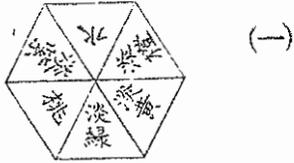
第一二圖 二等辺三角形、正三角形、正方形、菱形



第一二圖

正三角形及菱形之練習

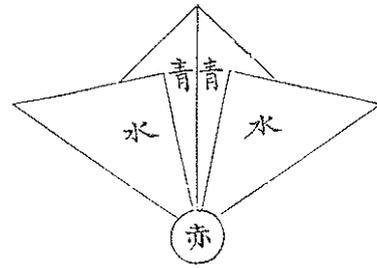
第三圖 正六角形之練習



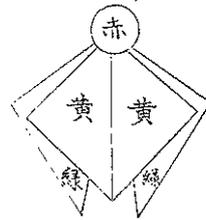
第四圖 水車



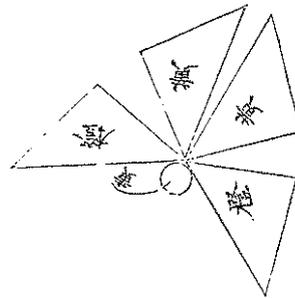
第一五図 羽子



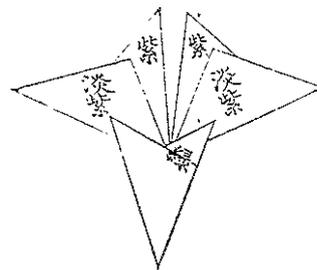
第一六図 はづき



第一七図 蝶

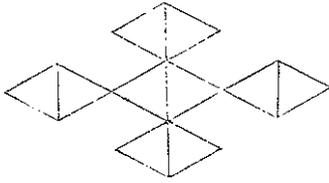


第一八図 燕子花

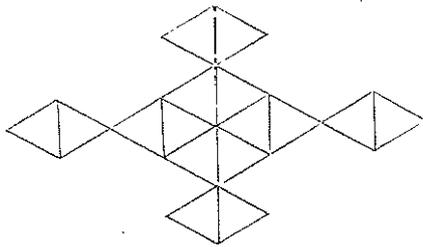


第一九図 菱形及正六角形練習

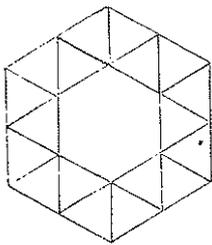
(一)



(二)

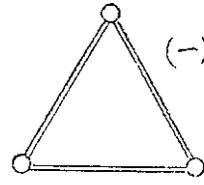


(三)

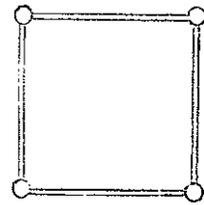


第二章 豆細工

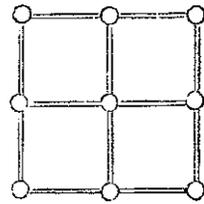
第二十圖 三角形、四角形



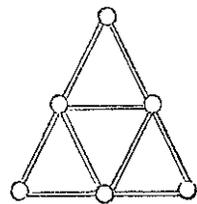
(一)



(二)

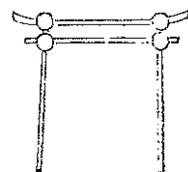


(三)



(四)

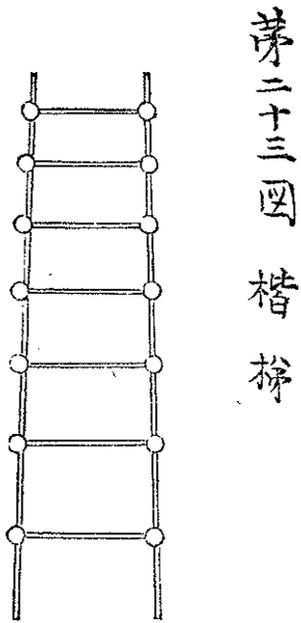
第二十四圖 鳥居



第二十二圖 旗

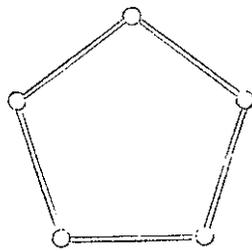
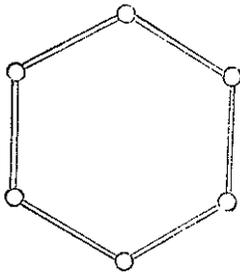


第二十五圖 さらし

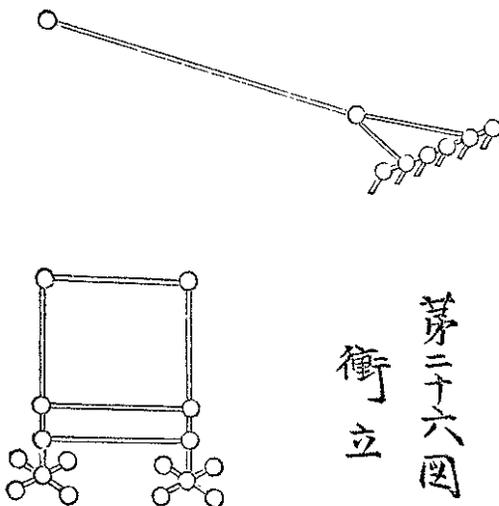


第二十三圖 楷梯

第二十四圖 正六角形、正五角形

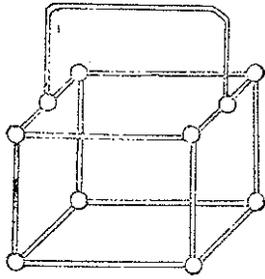


第二十六圖 衝立

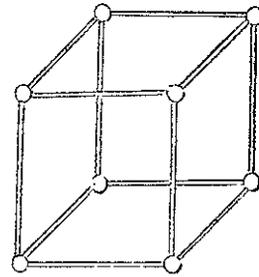


五

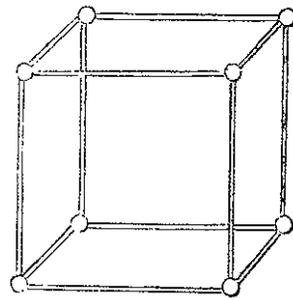
第三四圖
煙草盆



第三三圖
旗

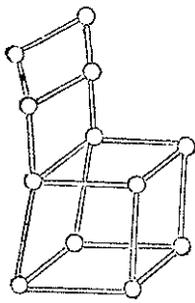


第三七圖
正方體



第三八圖
長方體

第三五圖
椅子

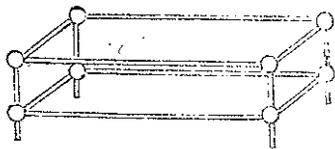


第三二圖
方柱

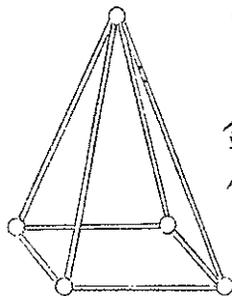


第三九圖
三角柱

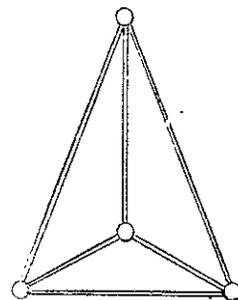
第三六圖
樣臺



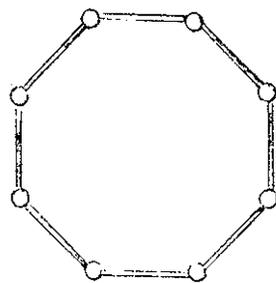
第三三圖
方錐體



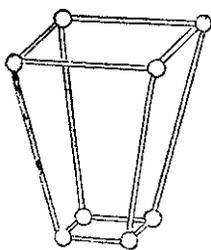
第三〇圖
三角錐體



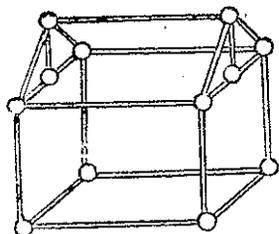
第三七圖 正八角形



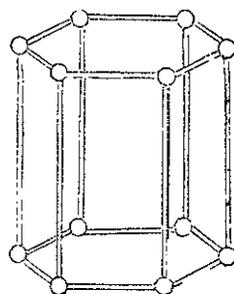
第四〇圖 植木鉢



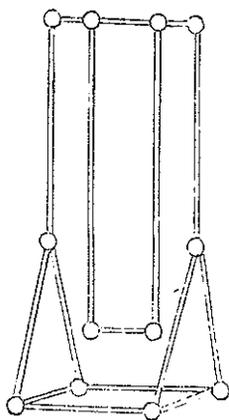
第三四圖 家



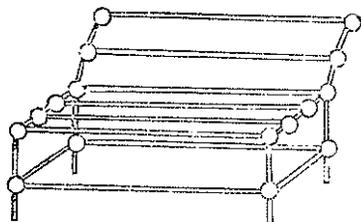
第三八圖 六角柱



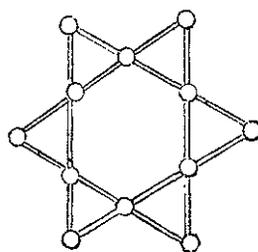
第四一圖 ぶらんこ



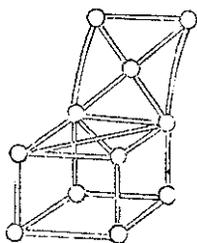
第四四圖 掛腰



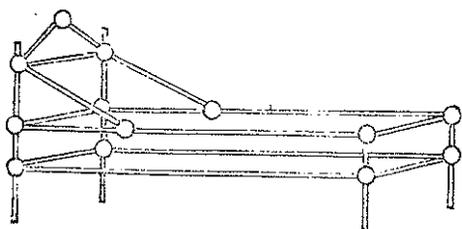
第三九圖 模樣明清鱗



第四二圖 椅子

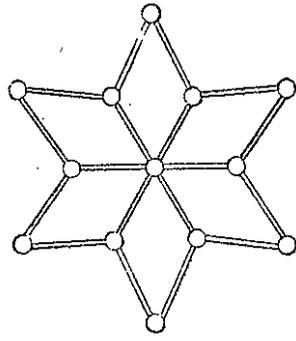


第四五圖 寢臺



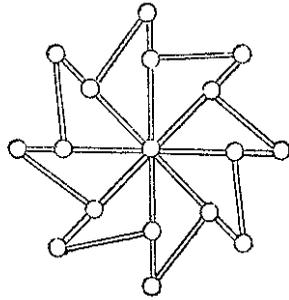
第四六圖

六花菱



第四七圖

水車



第四八圖

街燈



第 三 章

粘 土 細 工

第 四 圖 球



尺 突

第 五 圖 卵



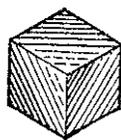
尺 突

第 五 圖 供 餅



尺 突

第 五 圖 實



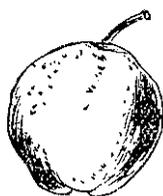
尺 突

第 五 圖 梅 實



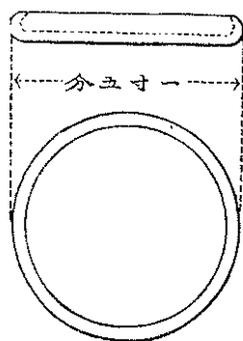
尺 突

第 五 圖 梨 實

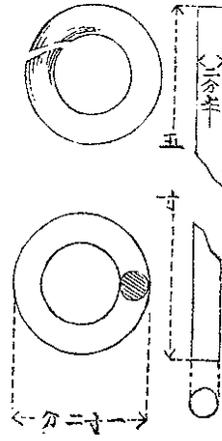


尺 突

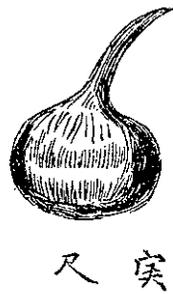
第 五 圖 盆



第五六圖 環



第五七圖 葱姑



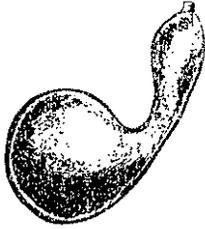
尺 突

第五八圖 栗實

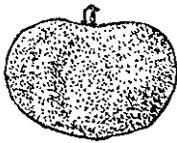


尺 突

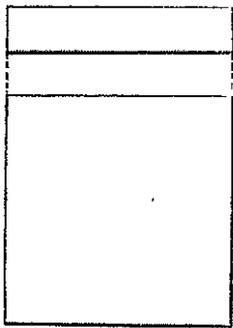
第五九圖 瓢



第六〇圖 密柑



第六一圖 墨臺

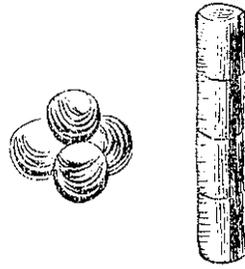


尺 突

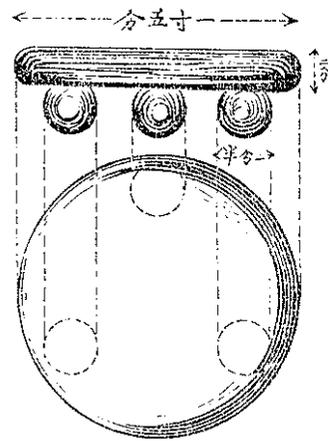
第六二圖 文鎮



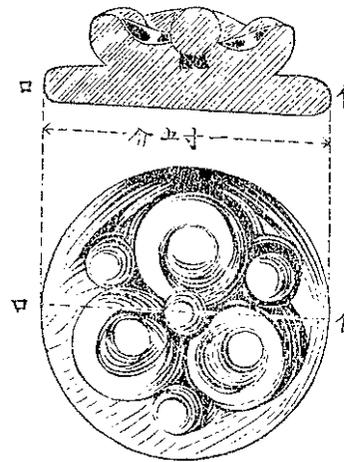
第六三圖 球四個



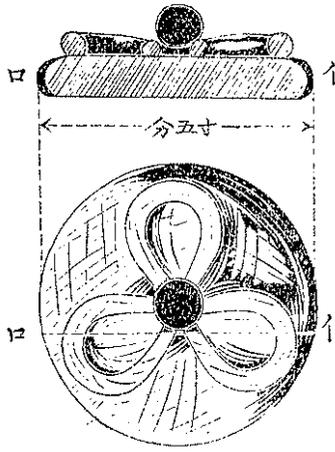
第六四圖 臺



第六五圖 三瓣八重花紋



第六六圖 三瓣重花紋



第六七圖 蕃椒



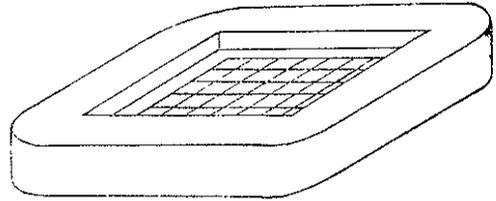
第六八圖 茄子



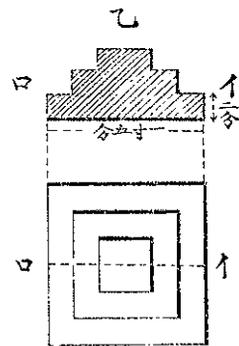
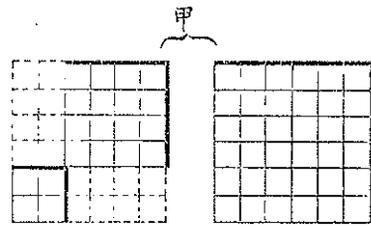
二

又 實

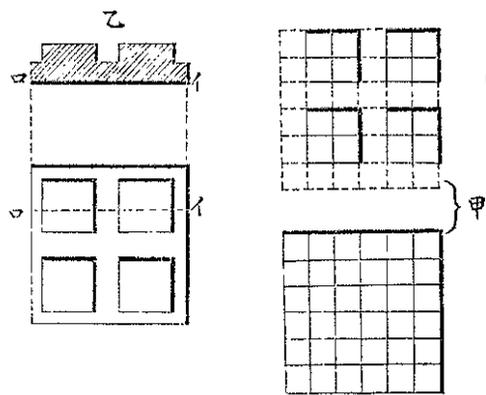
第 九 六 第
方 罽 粘 土 板



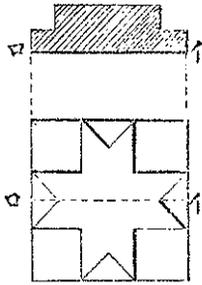
第 七 〇 圖 正 方 形



第 七 一 圖 四 目

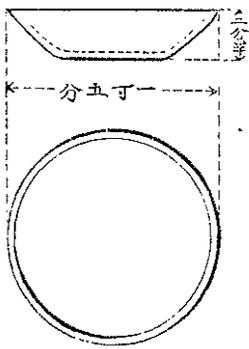


第 七 二 圖 矢 筈 邊

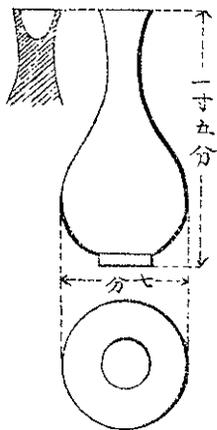


第 七 三 圖

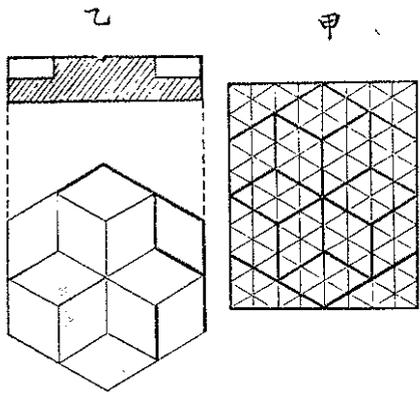
四



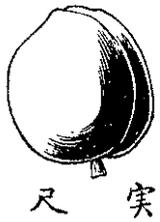
第 七 四 圖 德 利



第七七圖
菱花六ッ



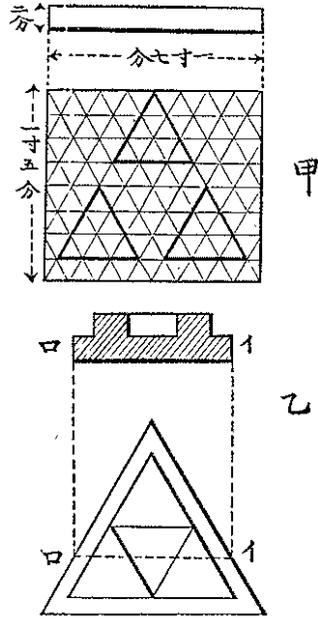
第七八圖
桃実



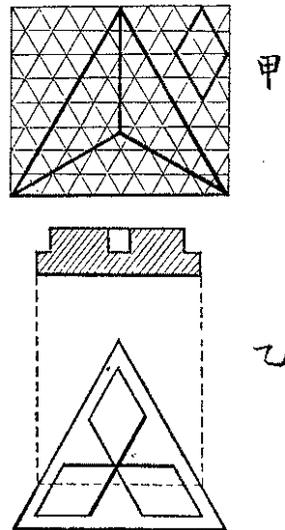
第七九圖
柿



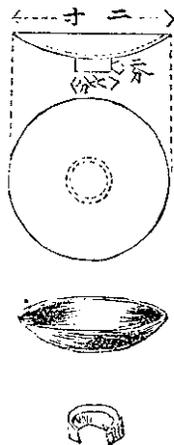
第七五圖
三ッ鱗



第七六圖
三ッ菱



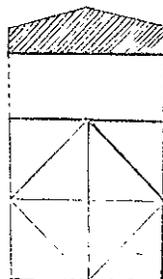
第八圖 盃



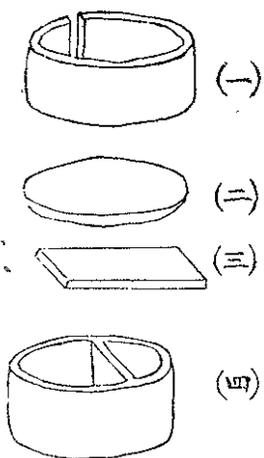
第八一圖 石燈籠



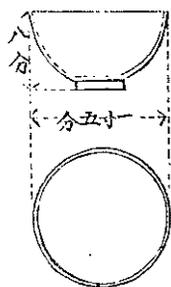
第八二圖 正方形



第八三圖 筆洗



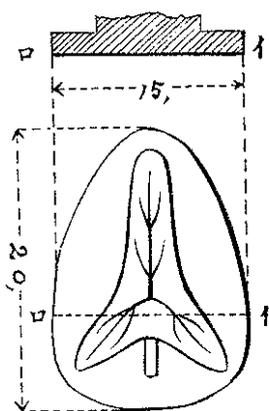
第八四圖 茶碗



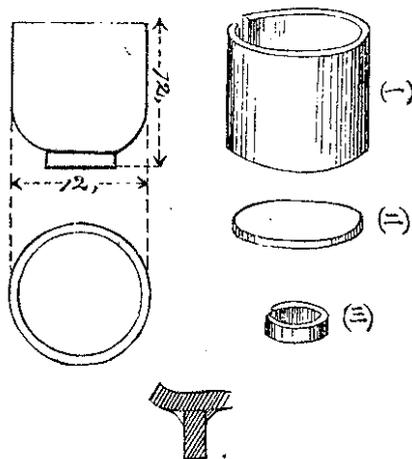
第八五圖 家



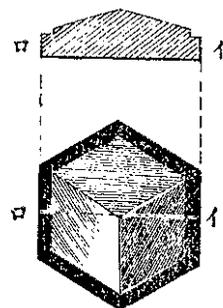
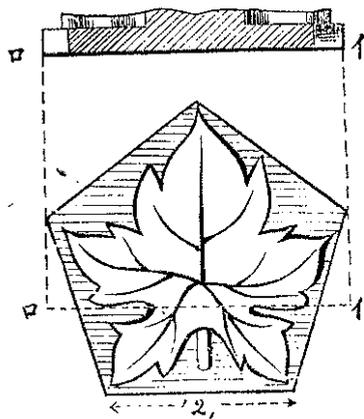
圖九八第
骨川



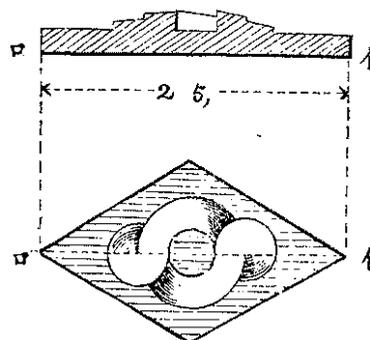
圖六八第
碗茶



圖〇九第
葉ノ楯

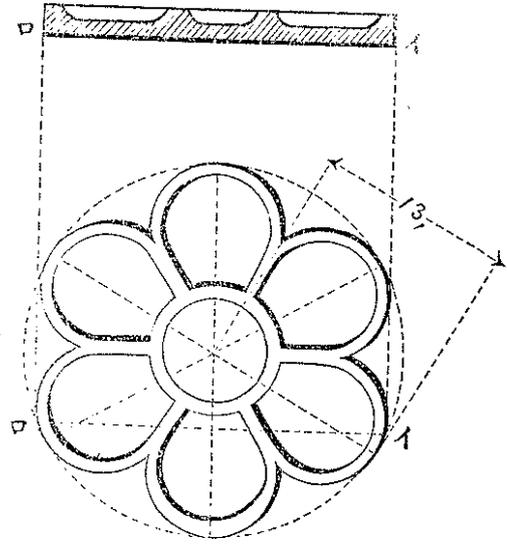


第七八圖
正六角形

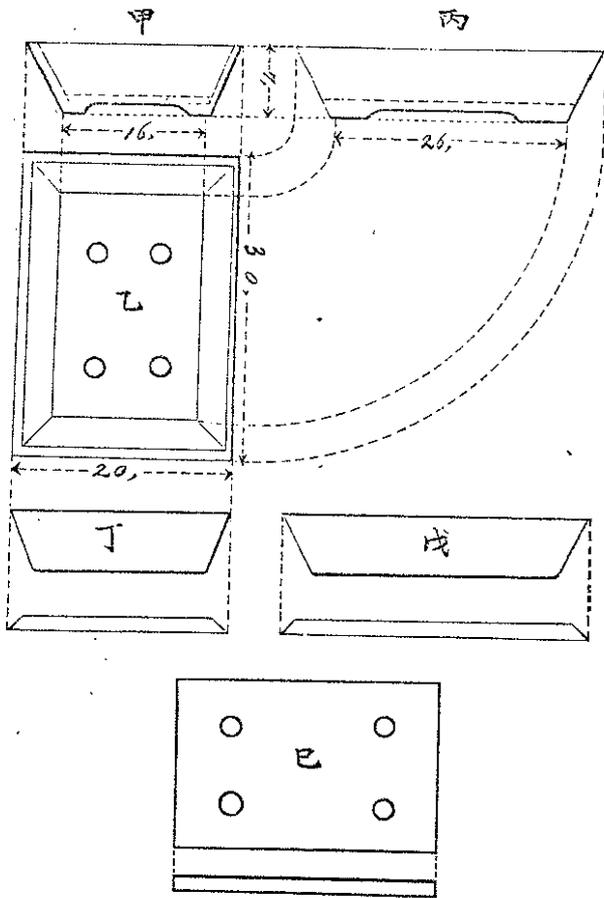


第八八圖
輪違

第九一圖 繪具四



第九二圖 植木鉢



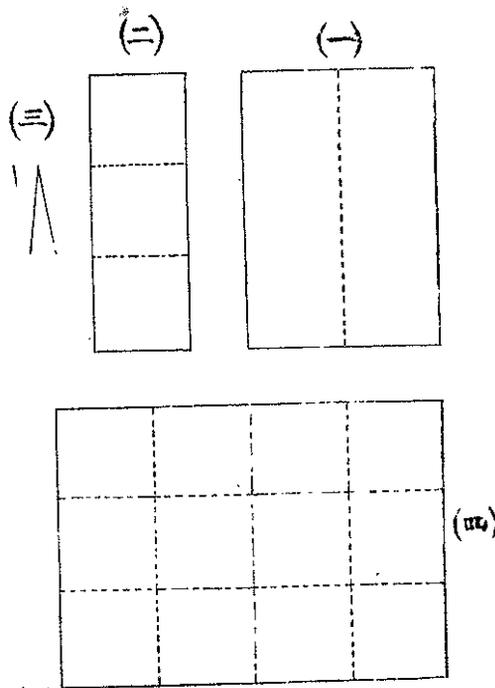
第四章

折紙細工

(点線) 前折
(鎖線) 後折

第九三回

紙ヲ十二區ニ折ルコト

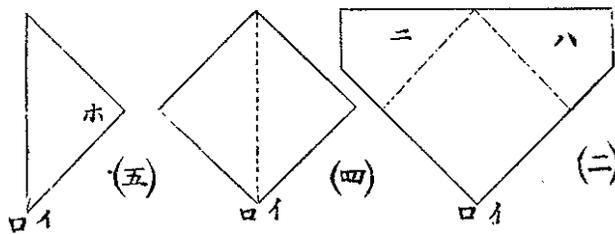
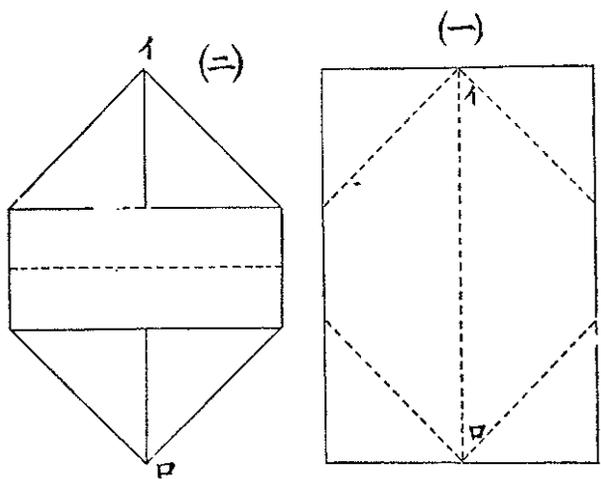
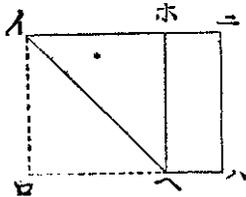


第九四回

紙鐵砲

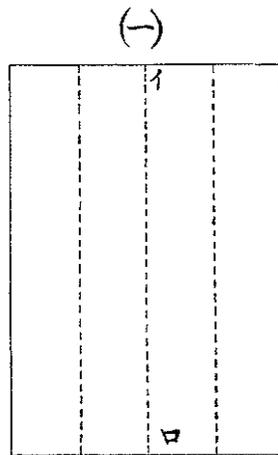
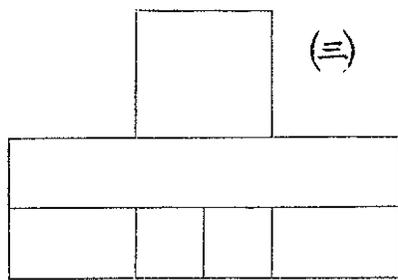
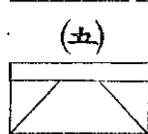
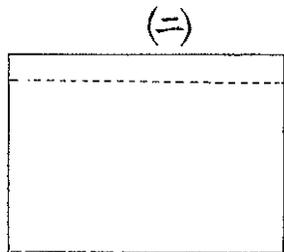
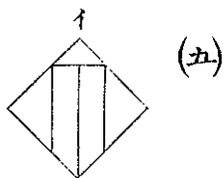
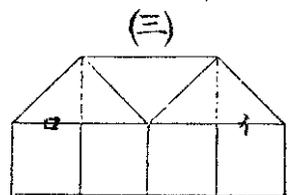
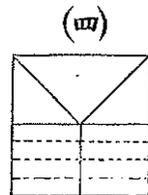
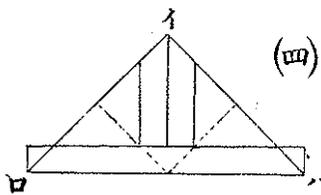
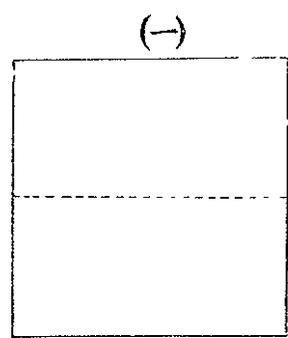
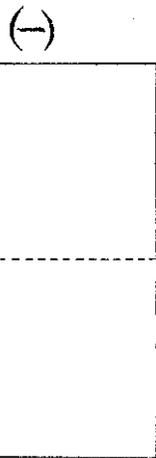
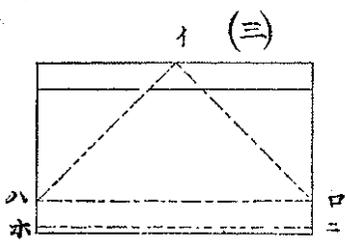
第九五回

長方形コト及ビ長方形ヨリ
正方形ヲ切り取ルコト



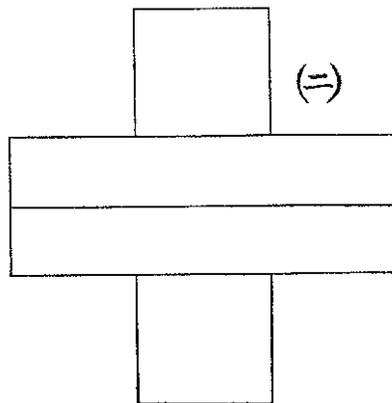
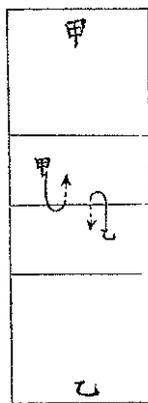
包類粉 圖七九第

口 墓 圖六九第



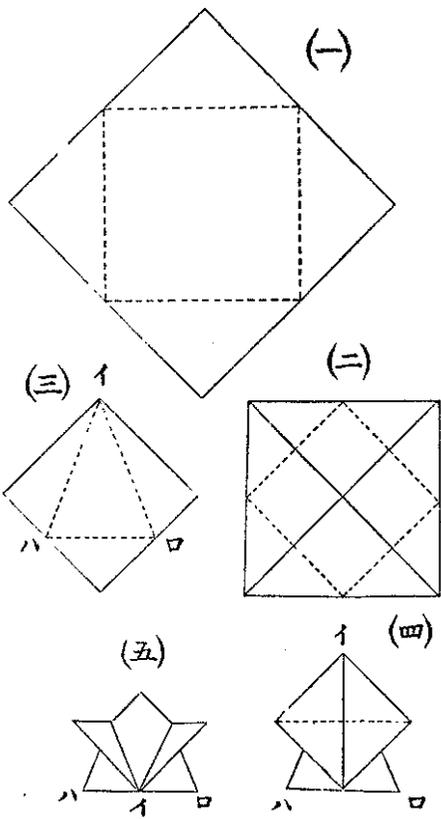
(四)

(五)

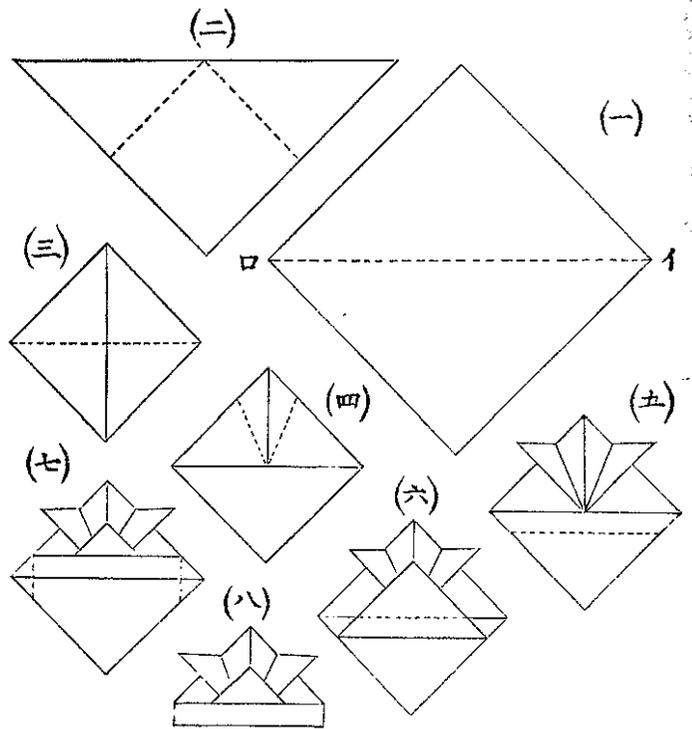


第九八圖 名刺入

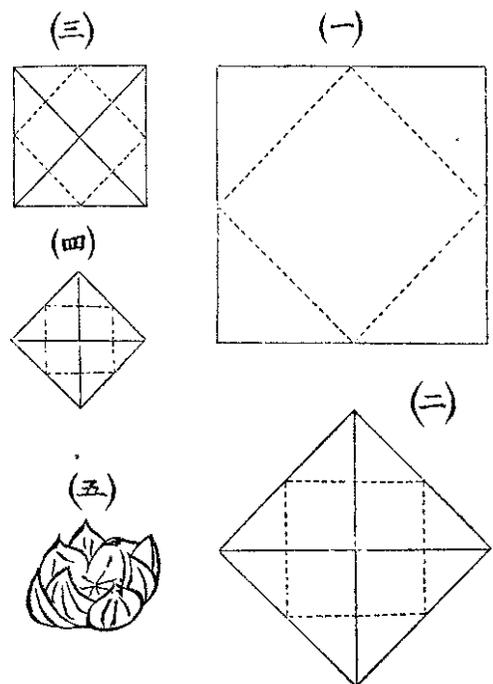
第一〇圖 福助



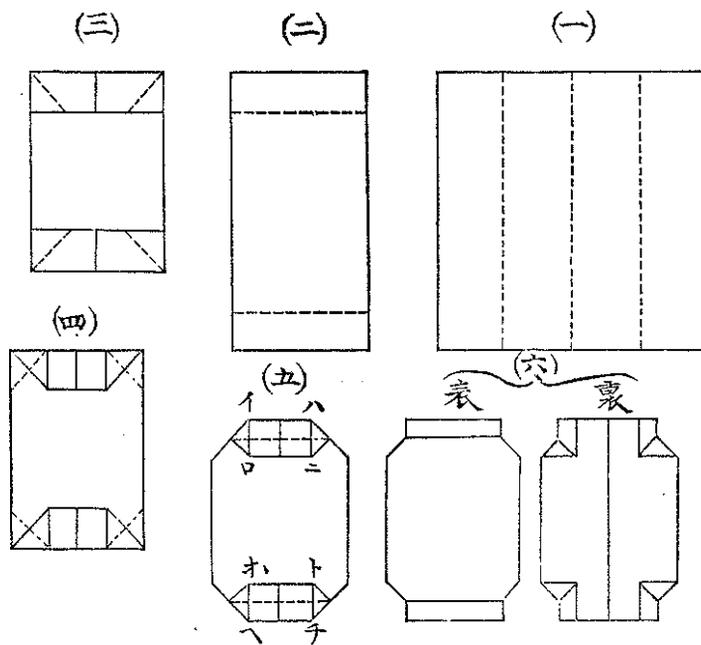
第九圖 兜



第一〇圖 花蓮

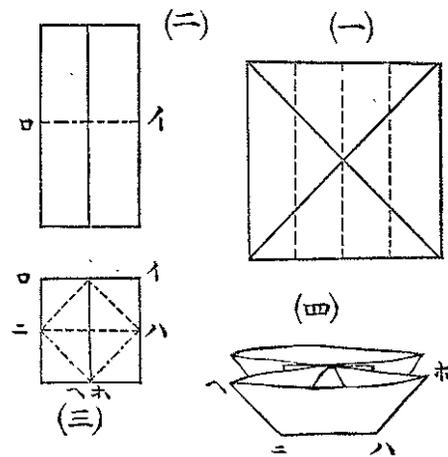
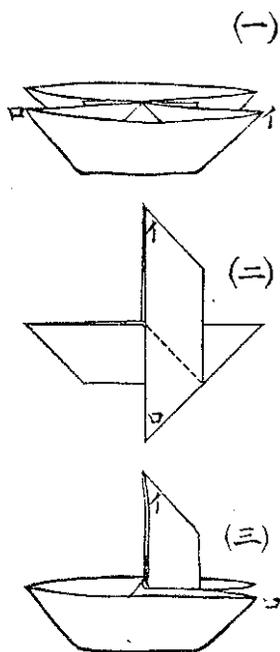


第一〇二圖 提灯



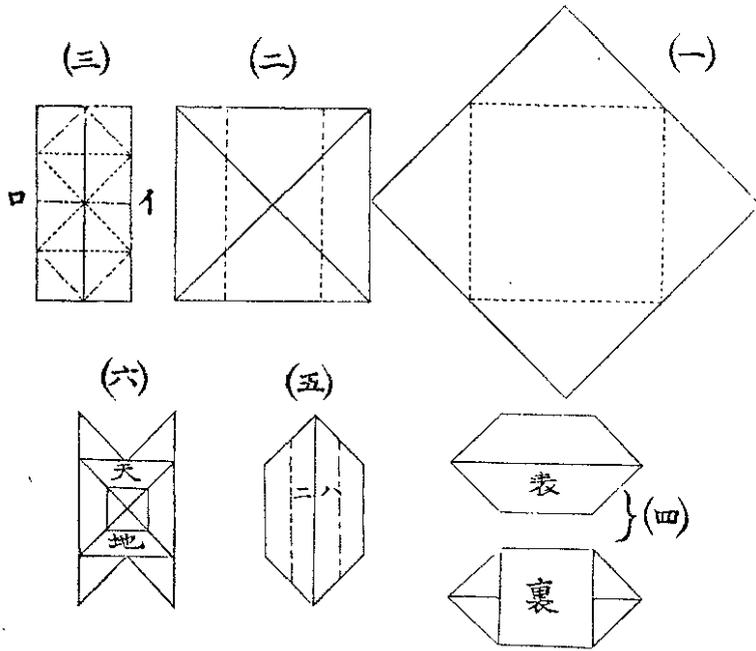
第一〇三圖 二艘船

第一〇四圖 帆掛船

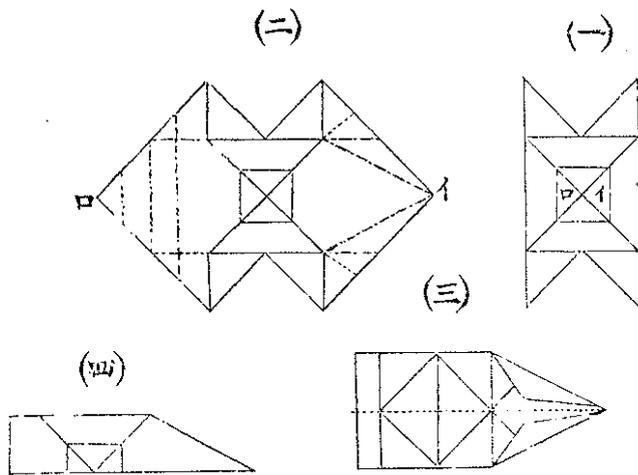


110

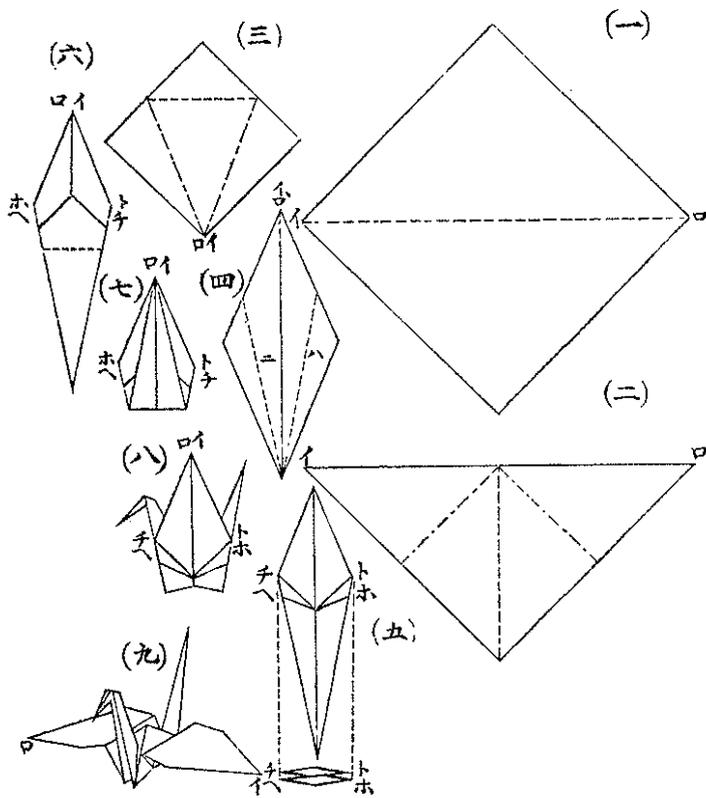
第〇五圖 扁額



第〇六圖 大船

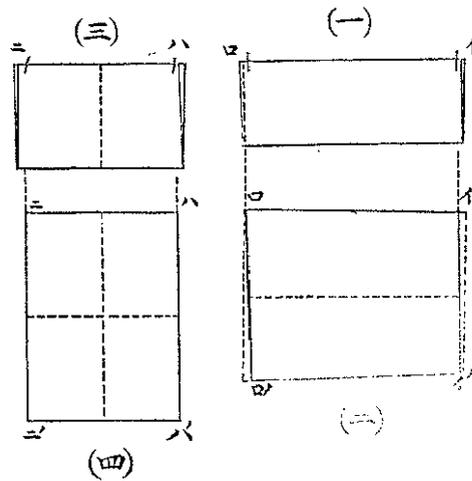
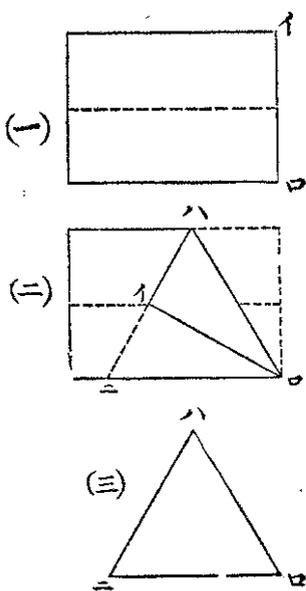


第七回 鶴

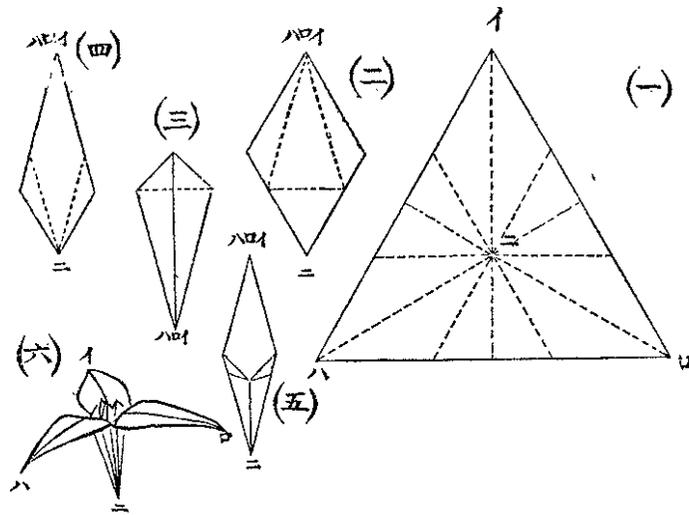


第八回 長方形ノ作リ方

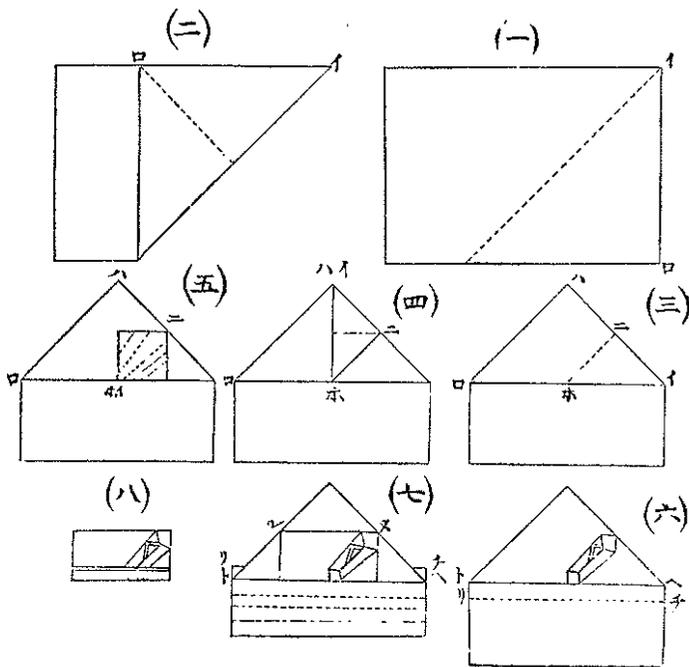
第九回 正三角形ノ作リ方



第一圖 燕子花

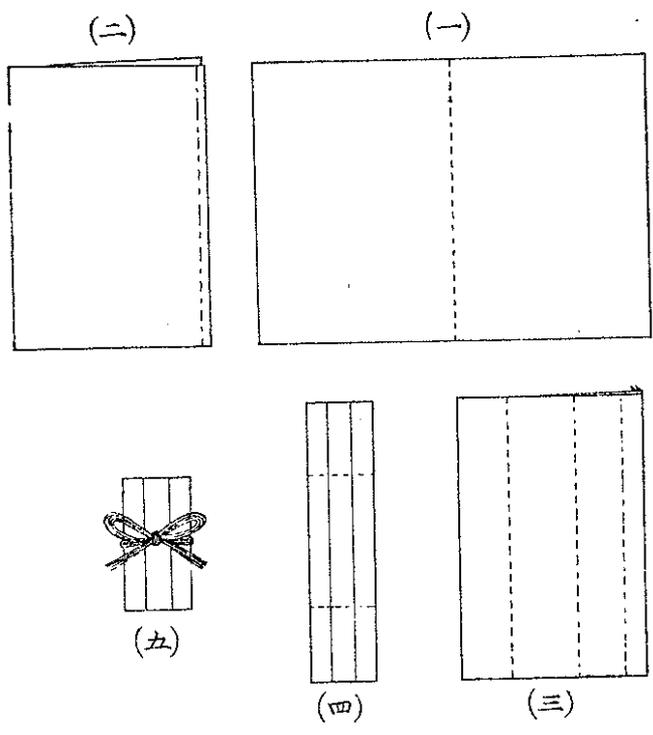


第二圖 塩包

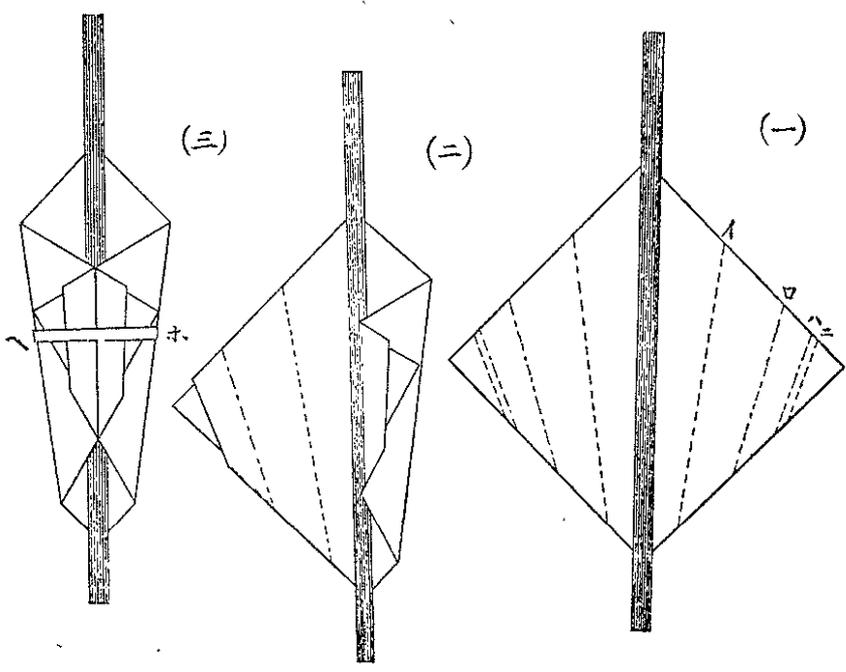


第一二圖

化銀幣包 附水引結方

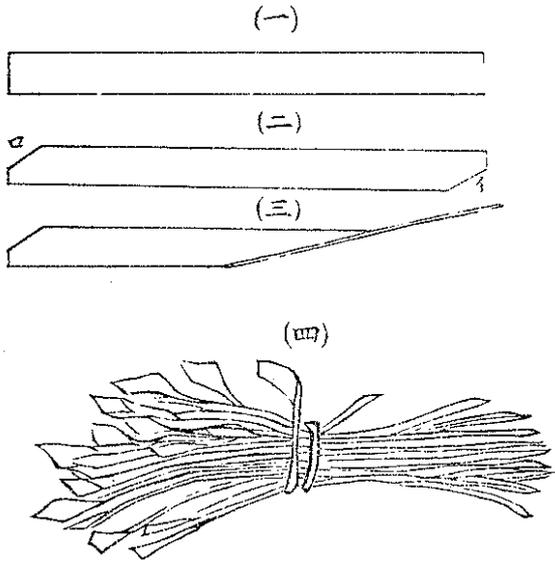


第一三圖 扇斗包

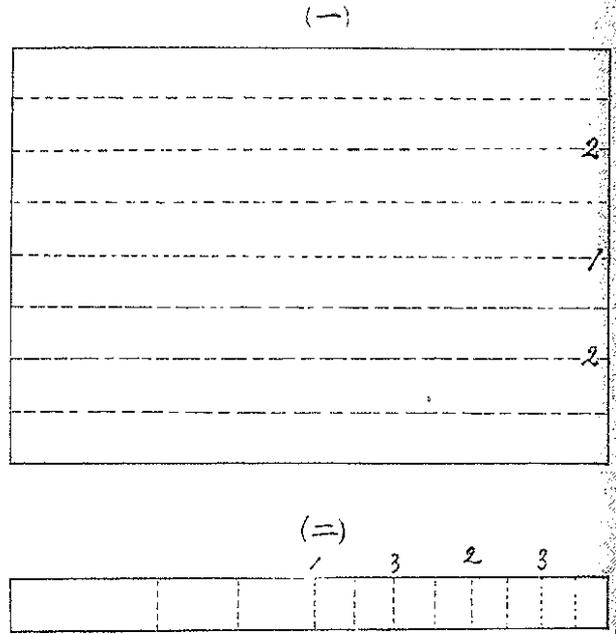


撚紙 章五第

撚小 圖五一一

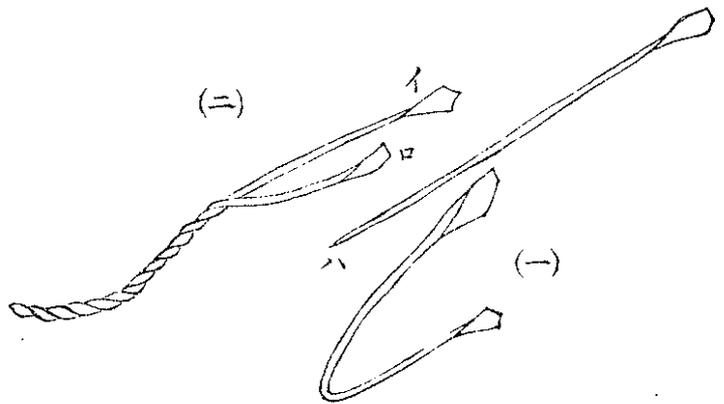
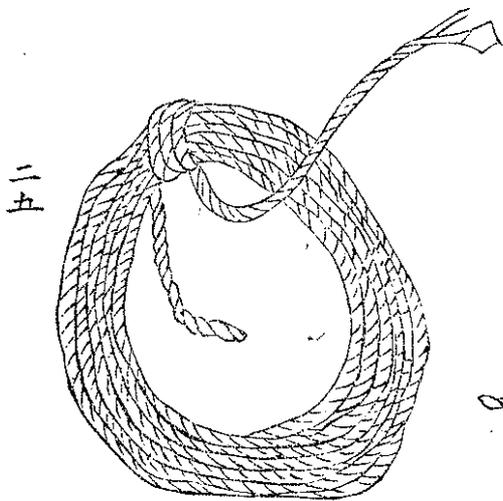


備準撚紙 圖四一一第



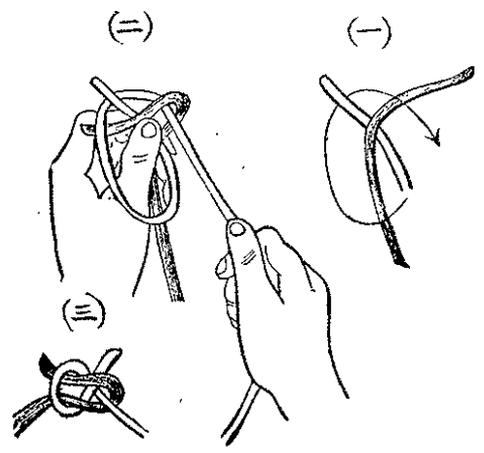
習練同 圖七一一第

撚世觀 圖六一一第

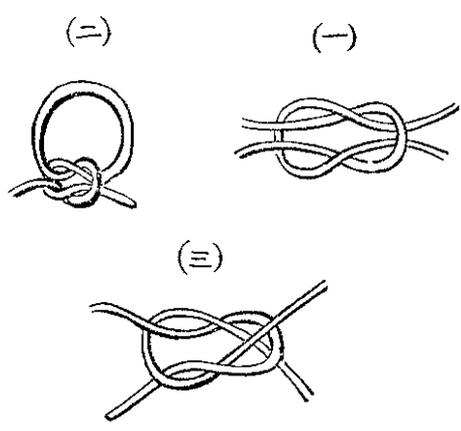


第六章 紐結

第一一〇圖
少機結

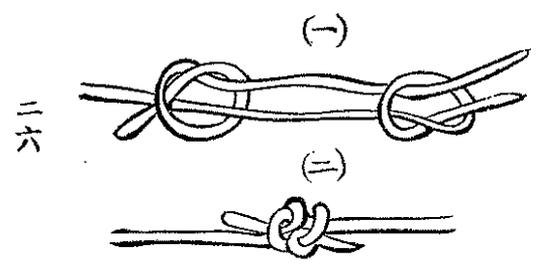


第一一八圖
止ま結(真結)

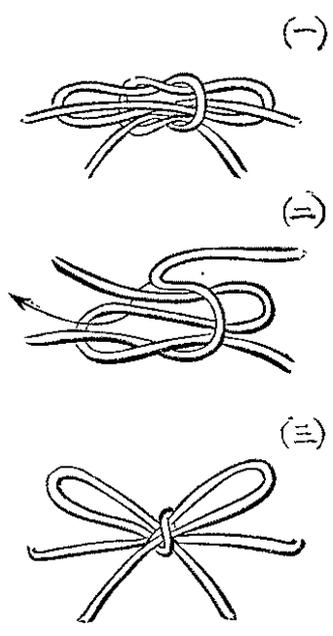


第一一四圖

繼結(相引結)

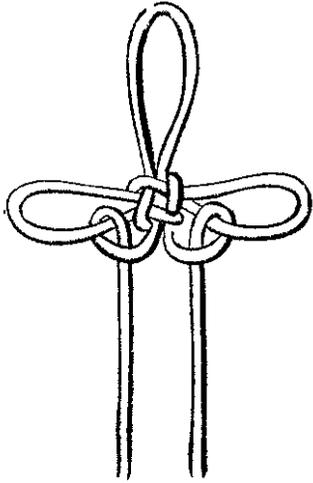


第一一九圖
諸結(兩膝折結)



圖四二一第

結頭鬼

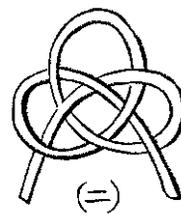
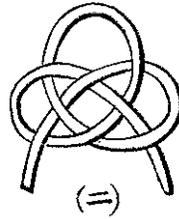
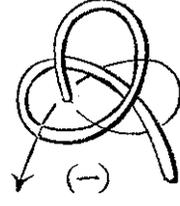
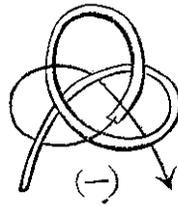


圖二二一第

(結飽) 結路淡

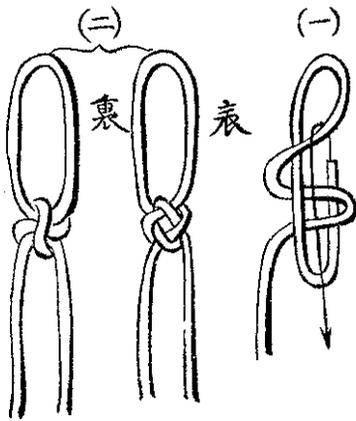
左

右



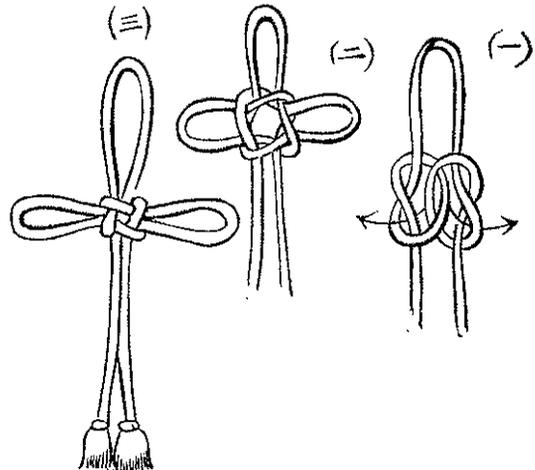
圖五二一第

結叶

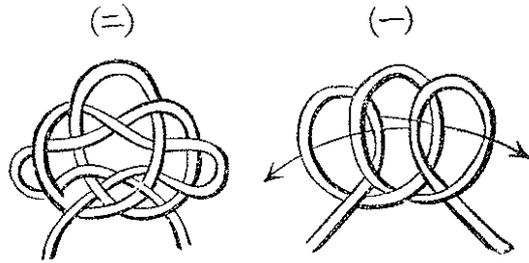


圖三二一第

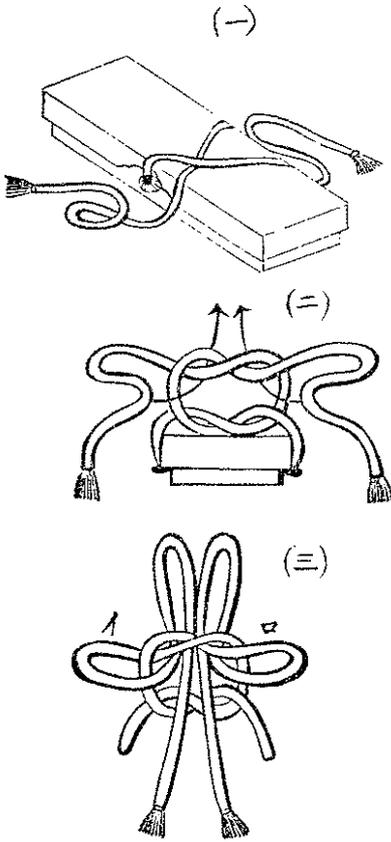
結角總



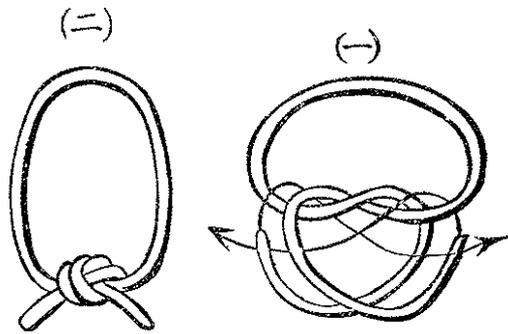
第一二一圖
ケ華蔓結



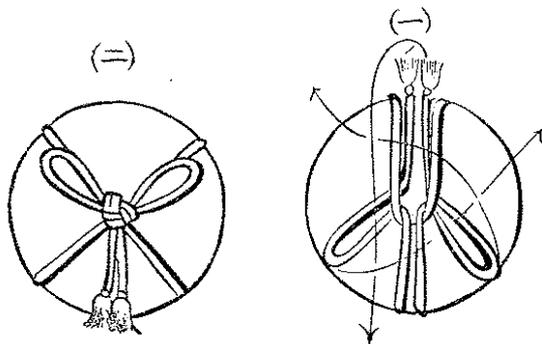
第一三八圖
文管結



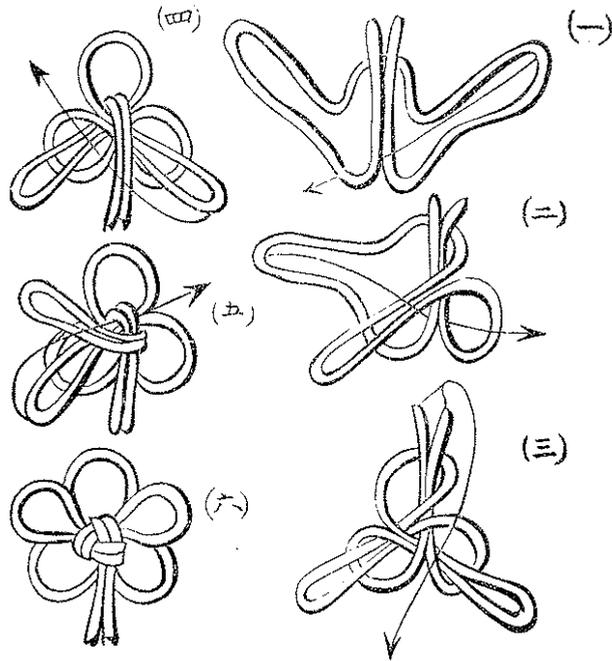
第一二一圖
草寶珠結



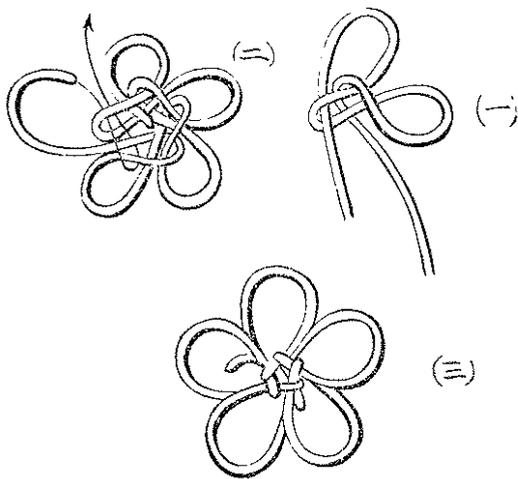
第一二九圖
円器の紐結



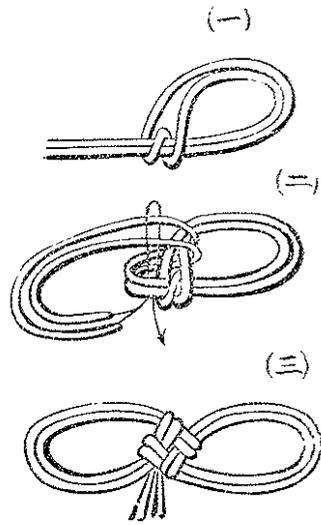
圖二三一第
結花梅



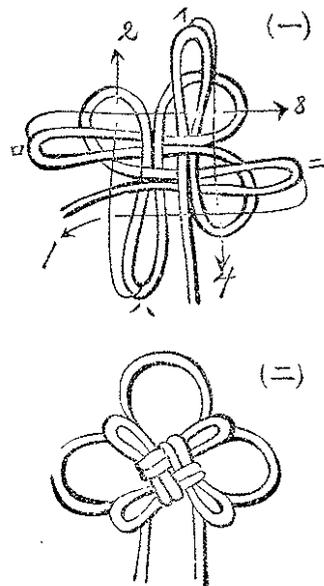
圖三三一第
結花



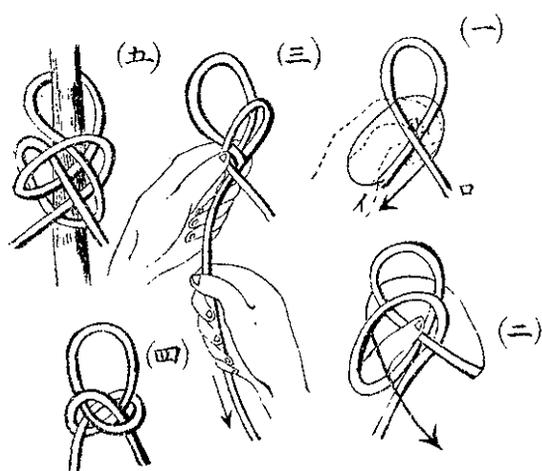
圖〇三一第
結着巾



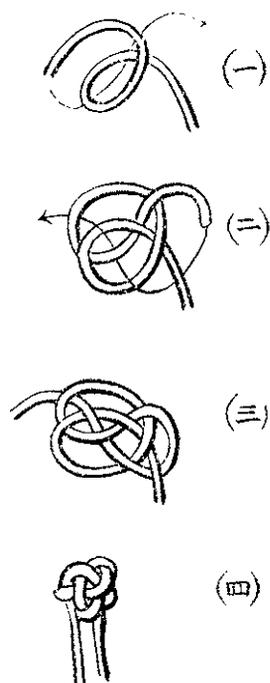
圖一三一第
結角總飾



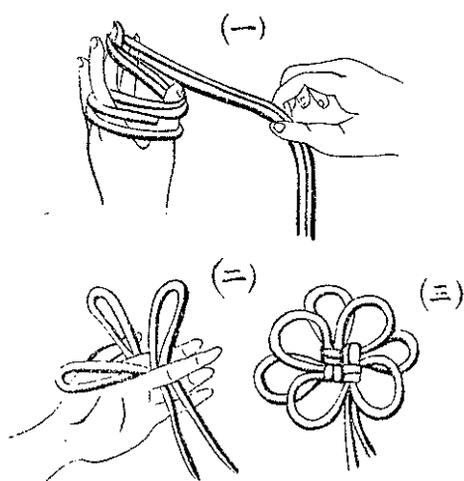
圖六三一第
(結頭蠅)結根垣



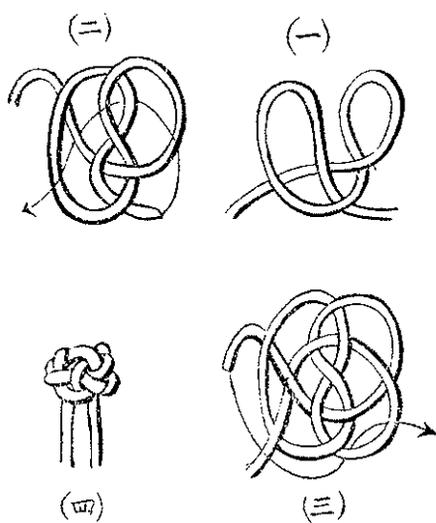
圖四三一第
結耀九



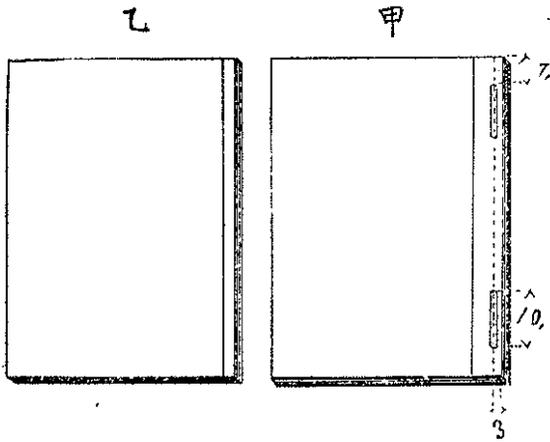
圖七三一第
結花菊



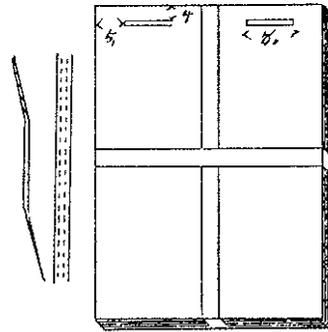
圖五三一第
結頭鈴蜻



第一四一圖
一の綴堅

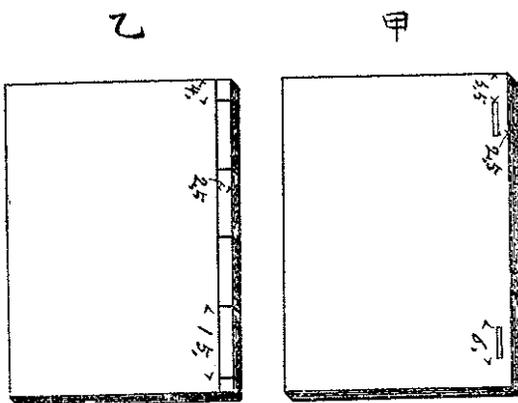


第一三八圖
一の綴横

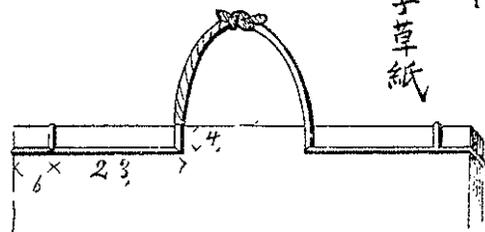
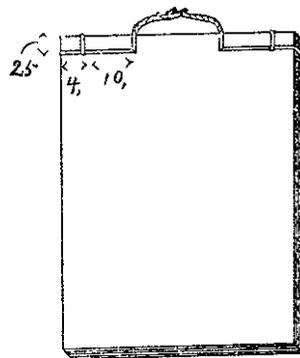


第七章
製本

第一四二圖
二の綴堅

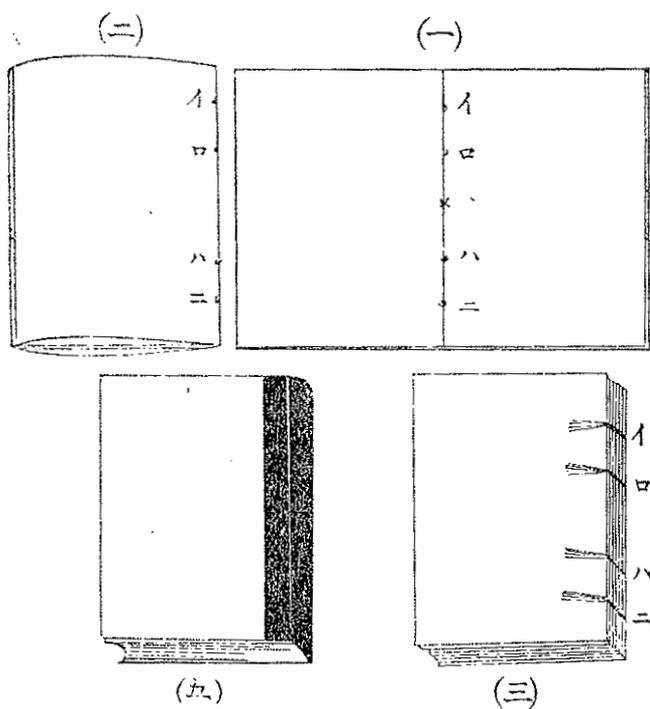


第一三九圖
二の綴横

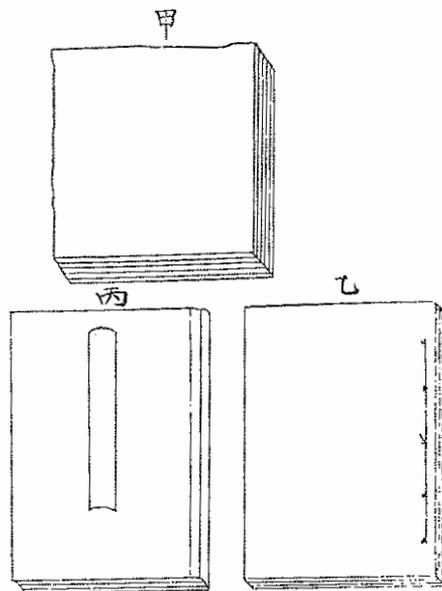


第一四〇圖
習字草紙

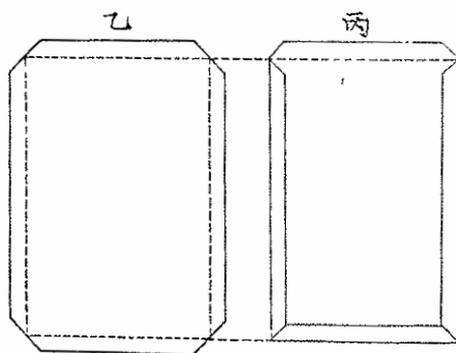
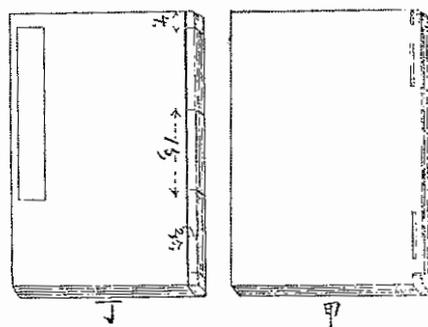
第一四一圖
洋本



第一四三圖
雜記帳



第一四四圖
和本

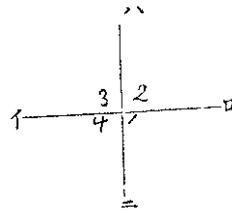


第八章

切貫細工

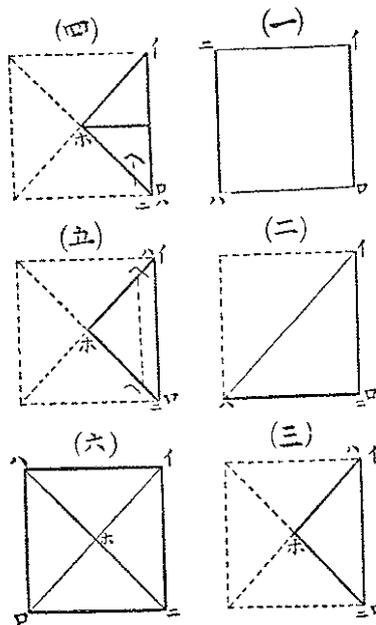
第一四六圖

直線、曲線、直角、銳角、鈍角
等、意義、



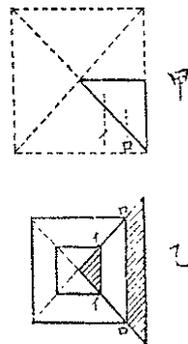
第一四七圖

正方形

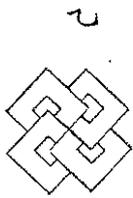
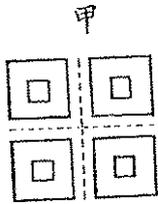


第一四八圖

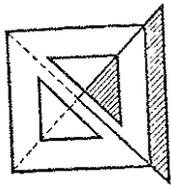
釘貫



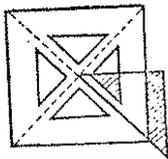
第一四九圖 四ツ目



第一五〇圖
斗梁架并

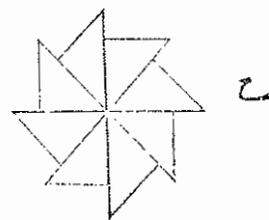
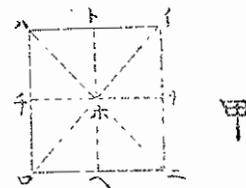
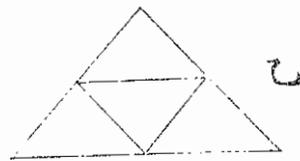
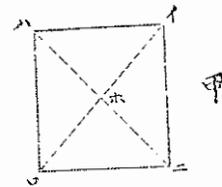
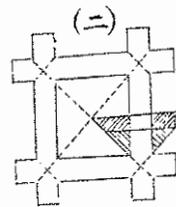
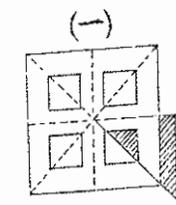


第一五一圖
凌リ罫



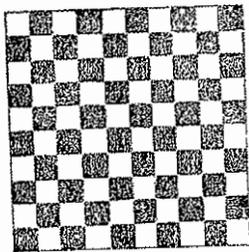
三三

第一五二圖 井筒

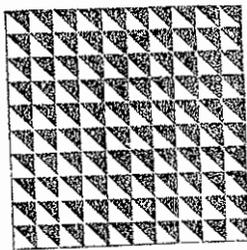


第一五三圖 北條鱗、風車

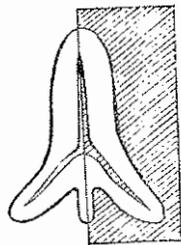
第一五四圖 市松模様 (正方形)



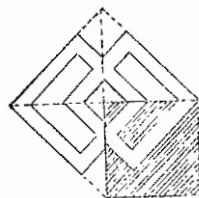
第一五五圖 同 (鱗形)



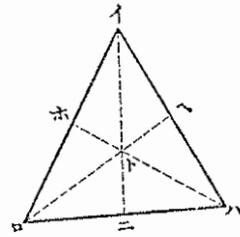
第一五六圖 河骨



第一五七圖 邊釘貫

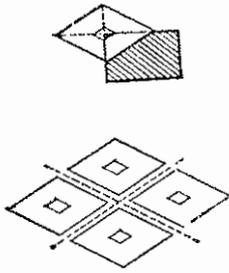


第一五八圖 正三角形、三柏

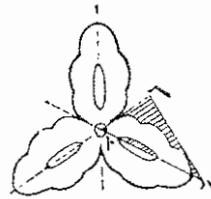


第一六〇圖

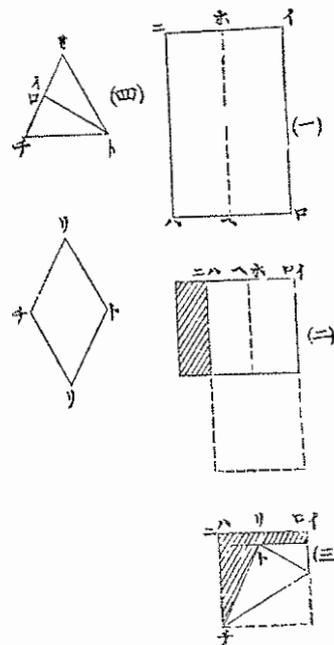
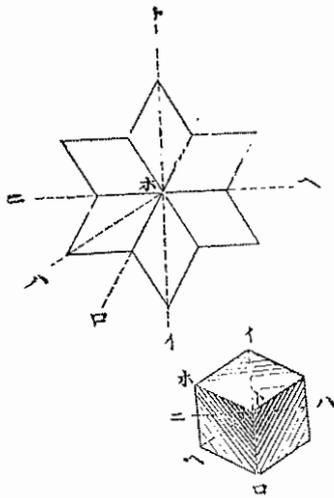
菱形法
四目菱



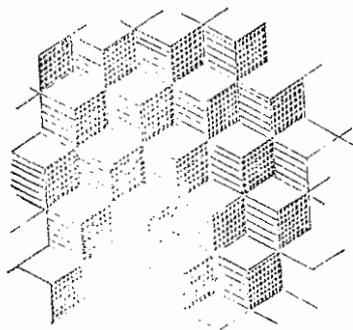
第一五九圖 菱形



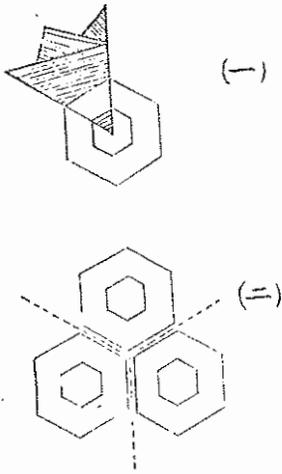
第一六一圖 六花菱、賽



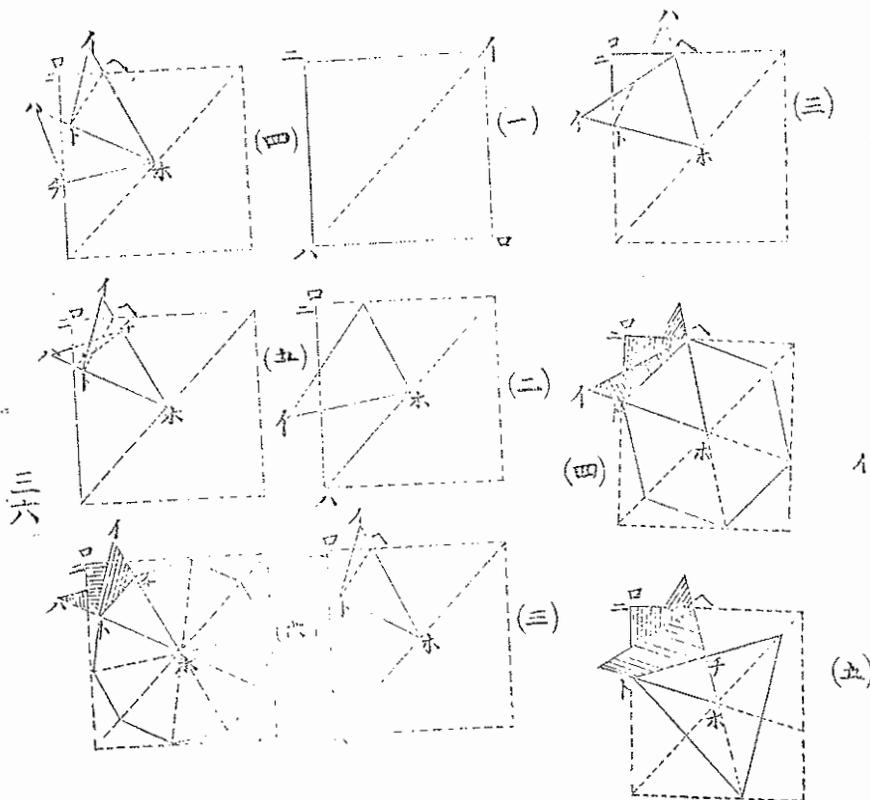
第一六二圖 賽繫ギ



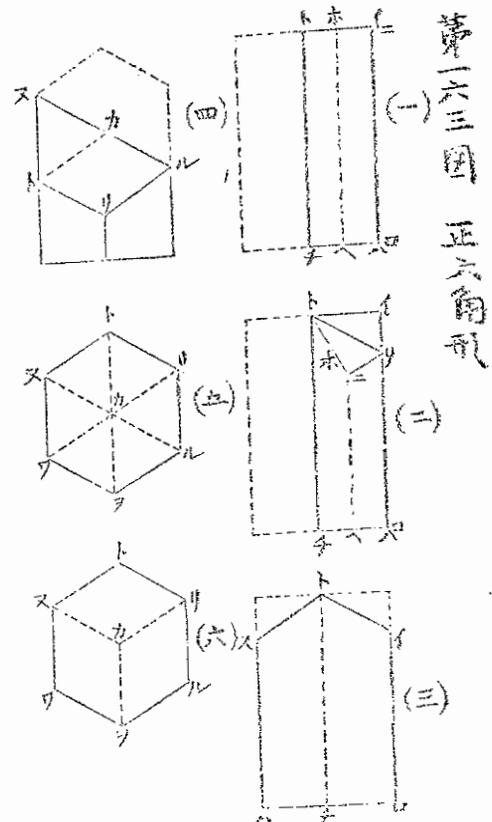
第一六五圖 三鏡甲



圖六六一第
形角十正



三六

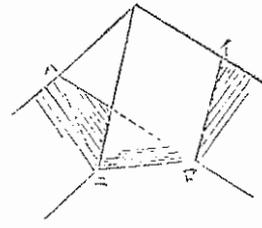


第一六三圖 正六角形

第一六四圖 正六角形及正三角形別法

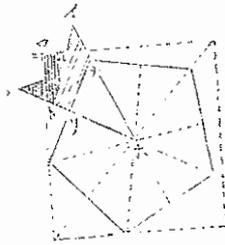
第一六七回

正五角形

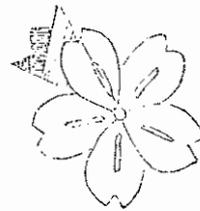


第一六八回

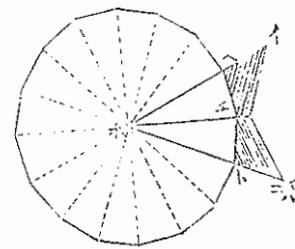
櫻花



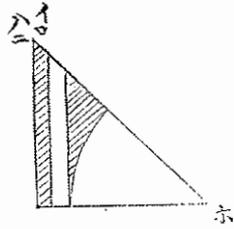
第一六九回



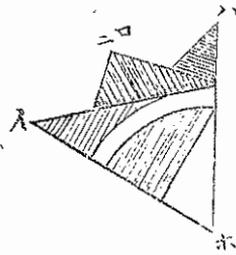
正六角形



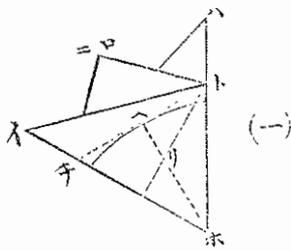
第一七〇回 平角のつくち



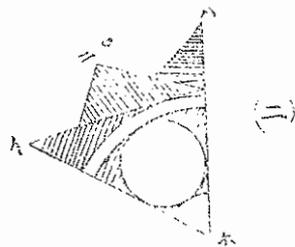
第一七一回 丸三角形



第一七二回



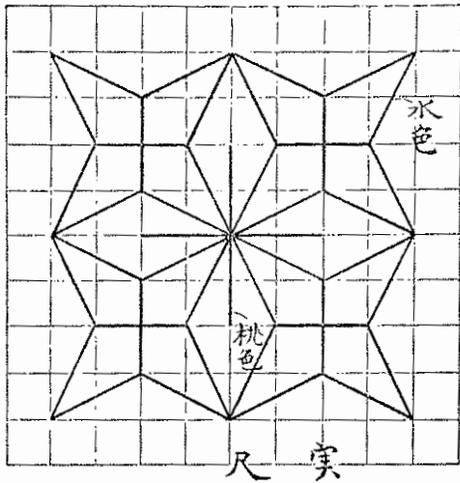
九二七曜



取縫 章九第

圖四七一第

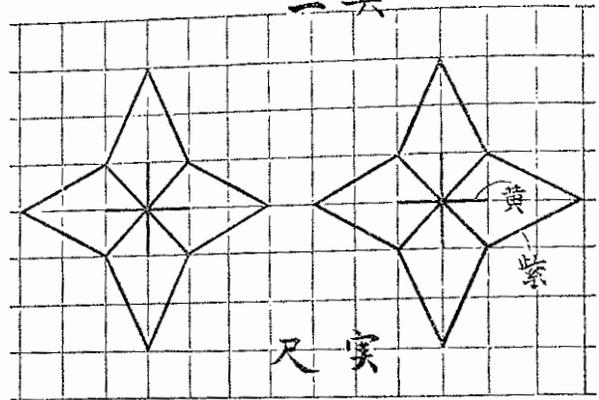
二其同



圖三七一第

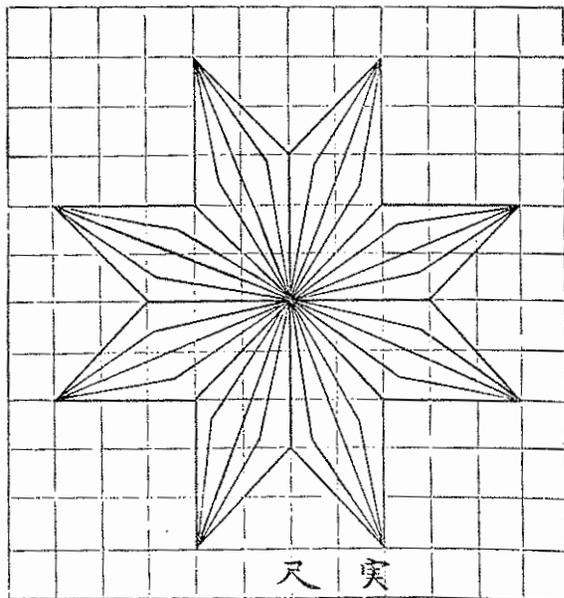
樣摸線直儿依=紙眼方

一其



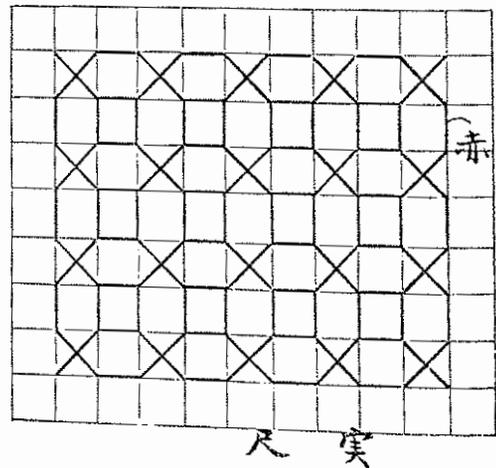
圖六七一第

四其同

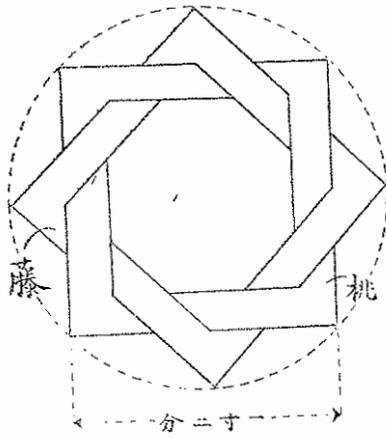


圖五七一第

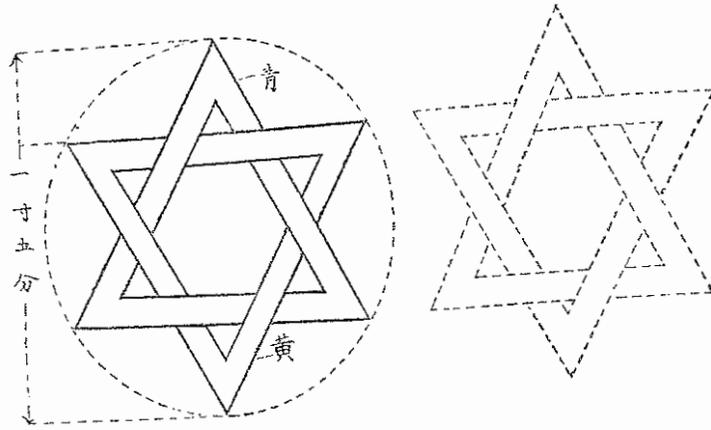
三其同



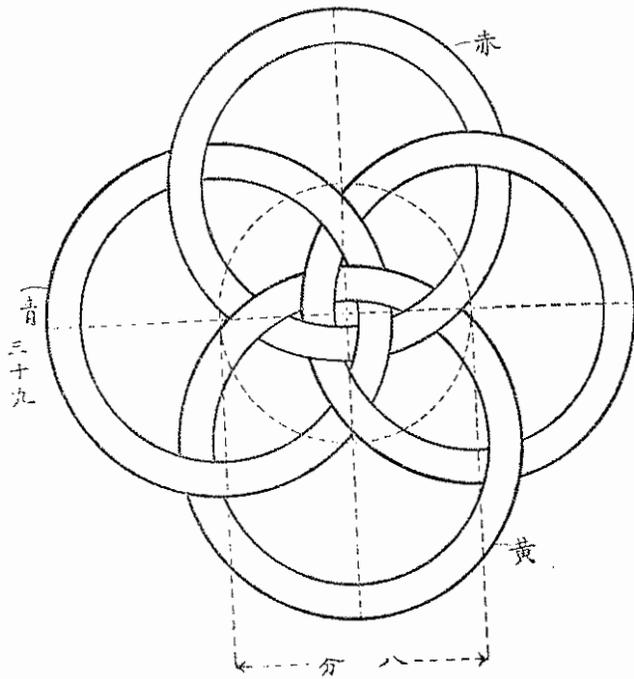
圖八七一第
(形角四邊角) 同



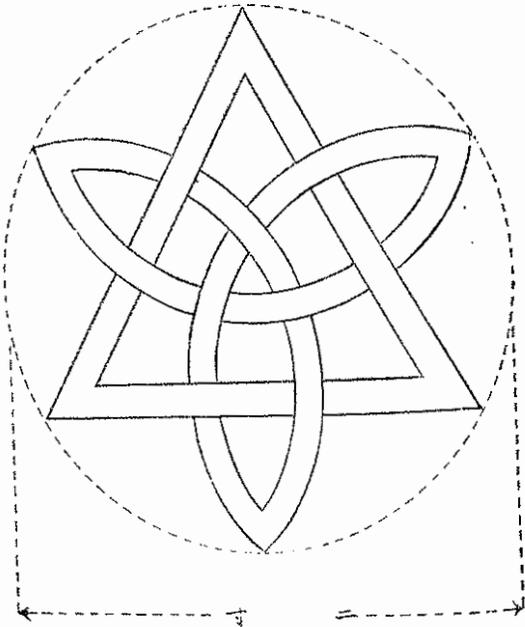
圖七七一第
(形角三邊角) 樣摸線直



圖〇八一第
(邊輪) 樣摸線曲

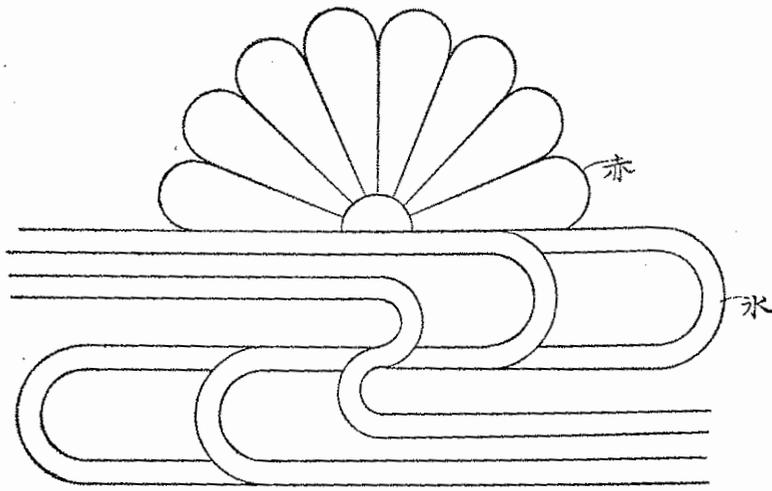


圖九七一第
樣摸線曲直



第(八)回

模様(菊水)



尺 実

第(八)回

自在画縫取(紅葉)



尺 実

第十章

厚紙細工

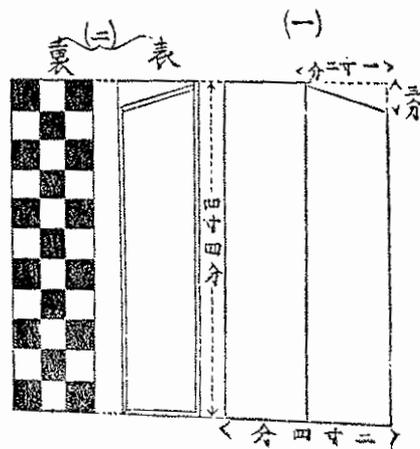
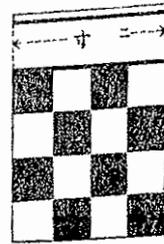
第八五圖 箸挿

第八三圖

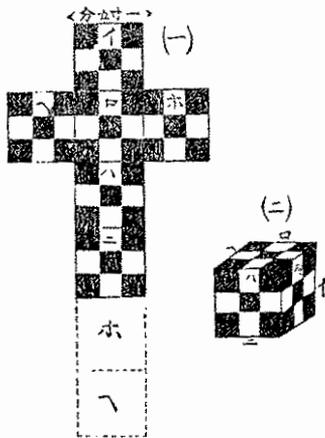
締卷

第八四圖

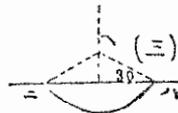
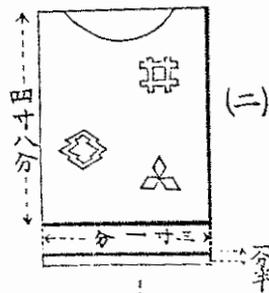
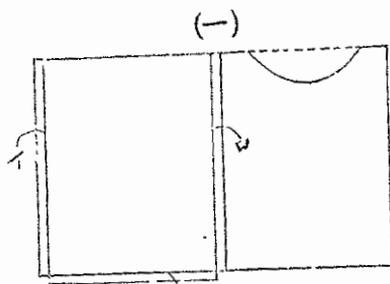
栞



第八六圖 正方体



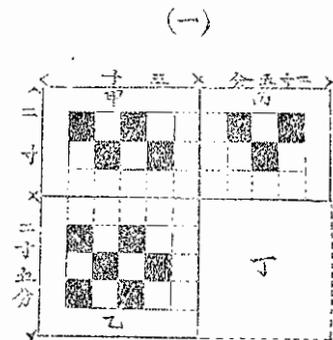
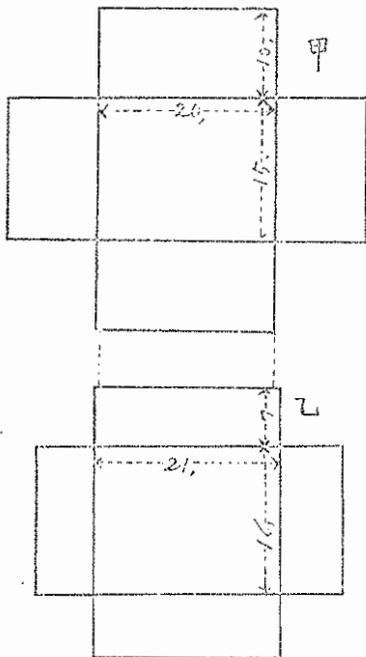
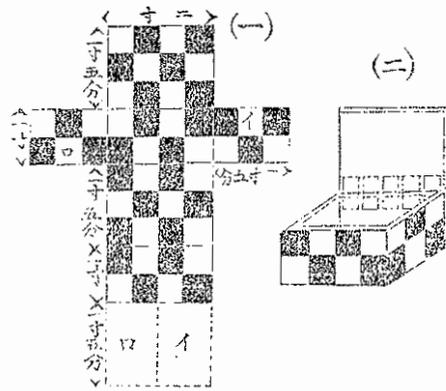
第八一圖 入書端



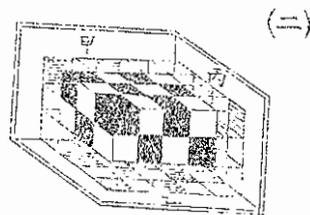
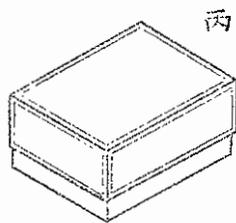
第八圖 長方直柱 蝶番蓋小箱

第九圖 同上製圖

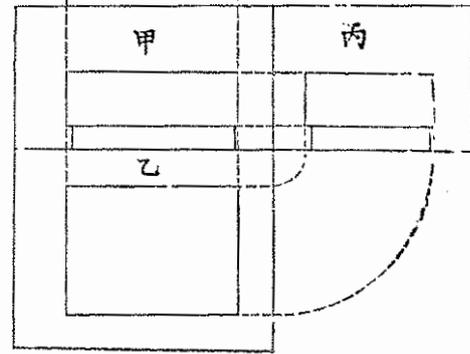
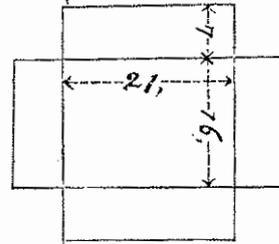
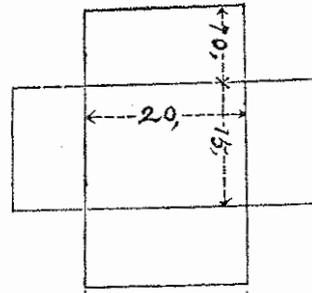
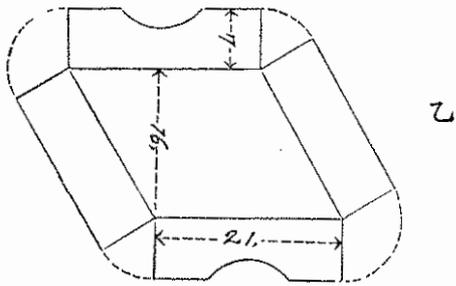
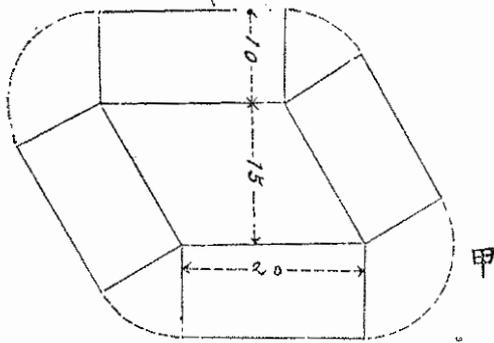
第九圖
長方直柱
被蓋小箱



四

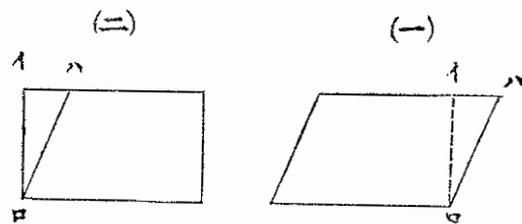
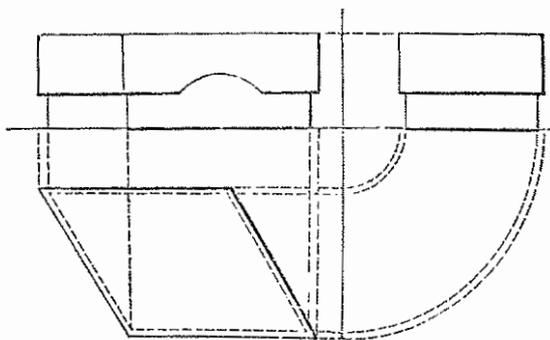


圖三九一第
柱直方斜
(箱小蓋板)



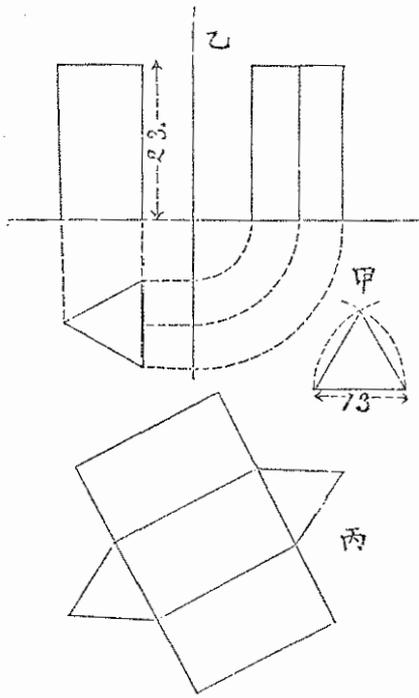
圖四九一第
圖製上同

三四

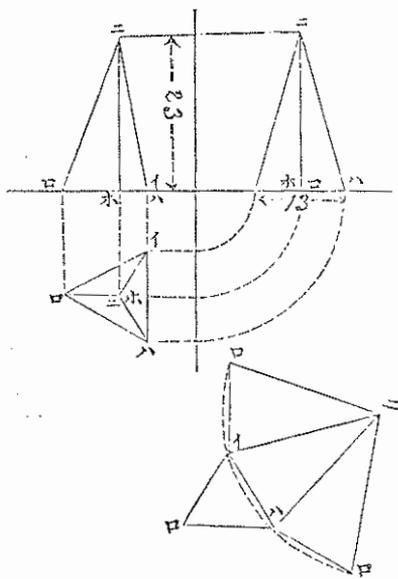


等底等
高，斜方形
下長方形
異形等積
之意義

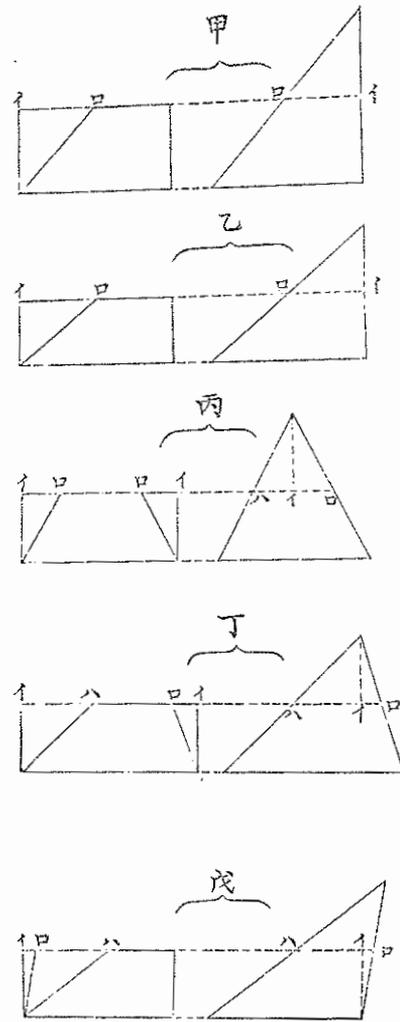
第一九七圖
正三角直柱



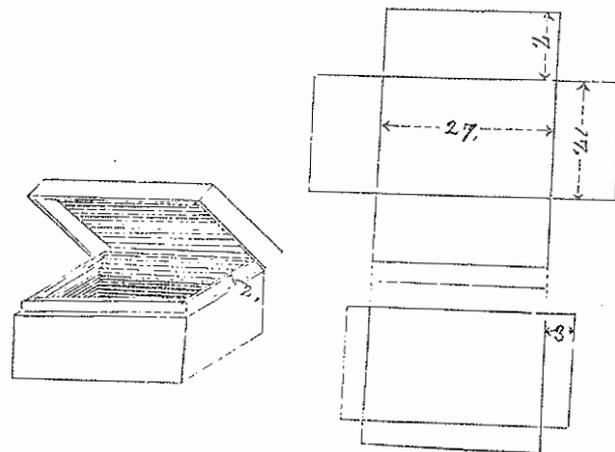
第一九八圖 正三角錐



第一九五圖 各種三角形及其面積測定ニ關スル實驗



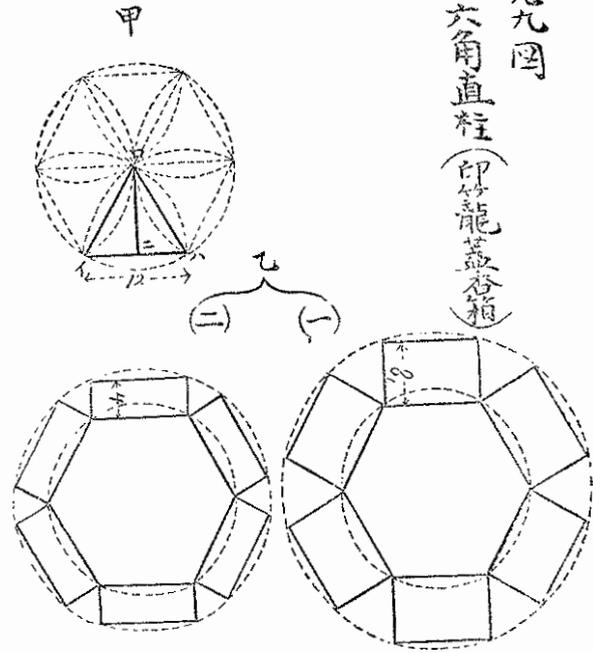
文具箱 第一九六圖



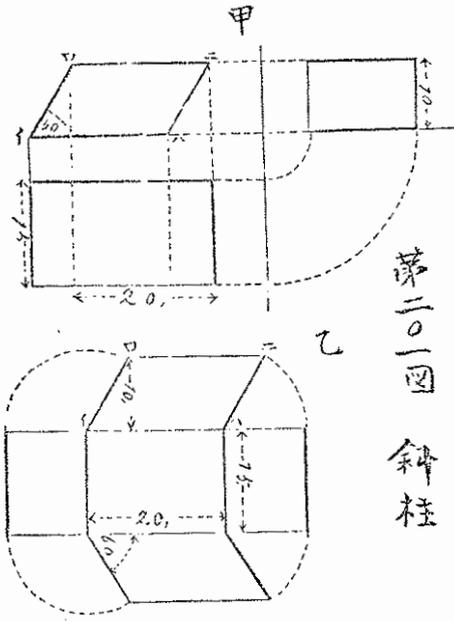
四

第一九四圖

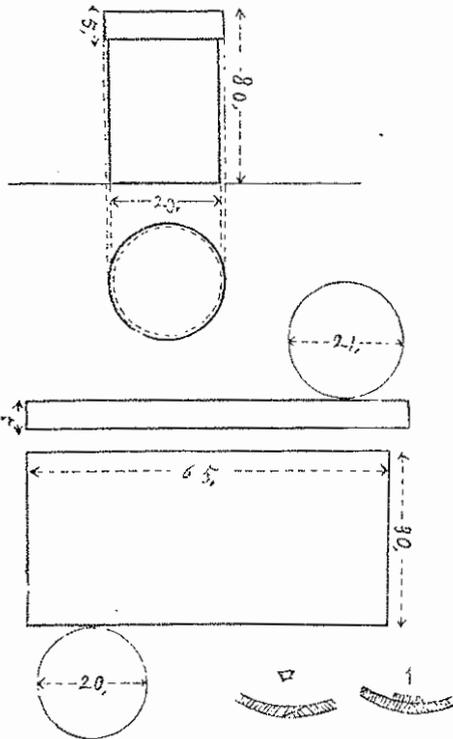
正六角直柱 (即龍蓋香箱)



第二〇一圖 斜柱

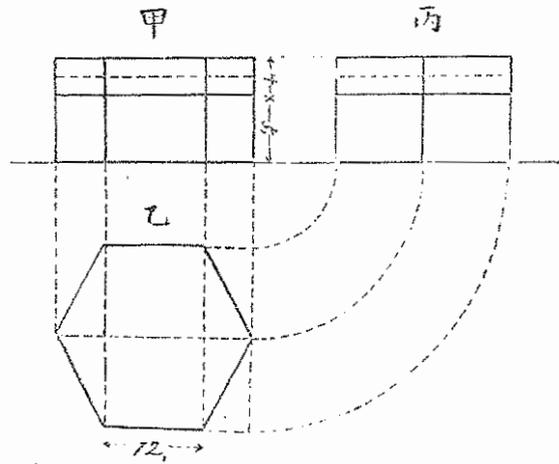


第二〇二圖 (筒茶) 壩田



四五

第二〇三圖 製上同



第十一章 竹細工

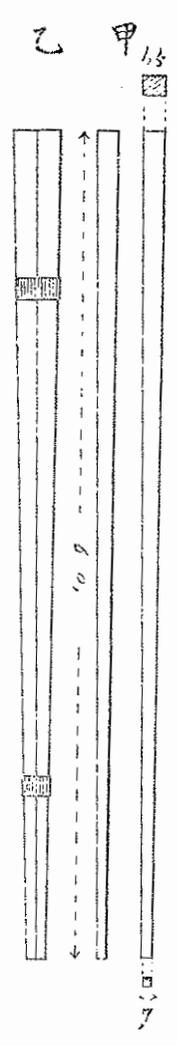
第二〇三圖 角棒



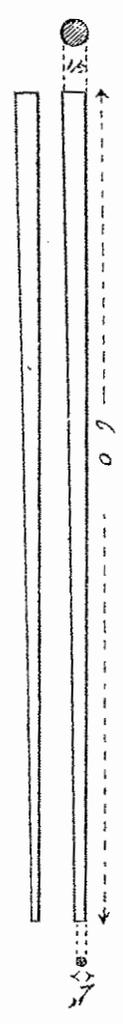
第二〇四圖 丸棒



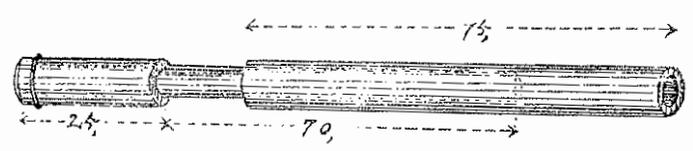
第二〇五圖 角箸



第二〇六圖 丸箸



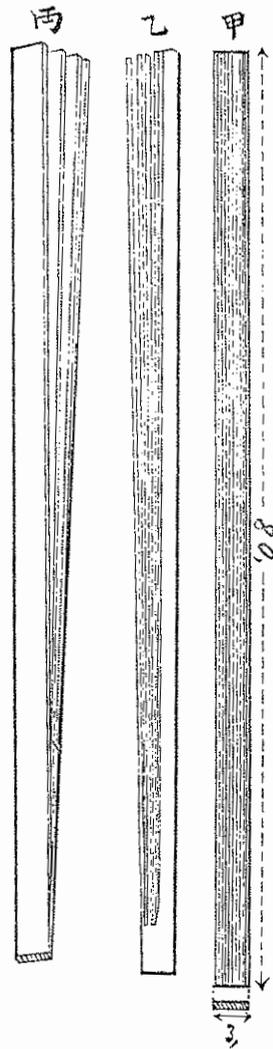
第二〇七圖 竹鐵砲



第三八圖 糊篋



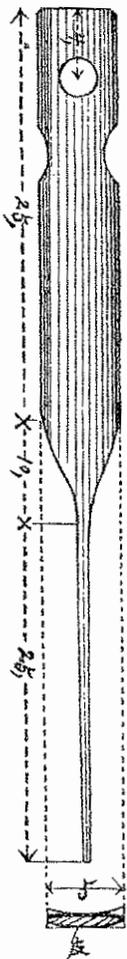
第二九圖 竹割り方練習



第三二圖 琺

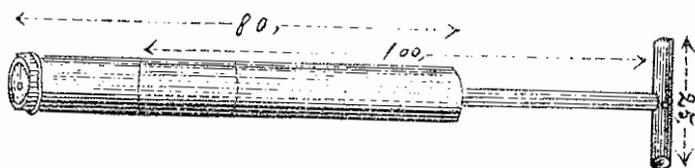


第三三圖 同

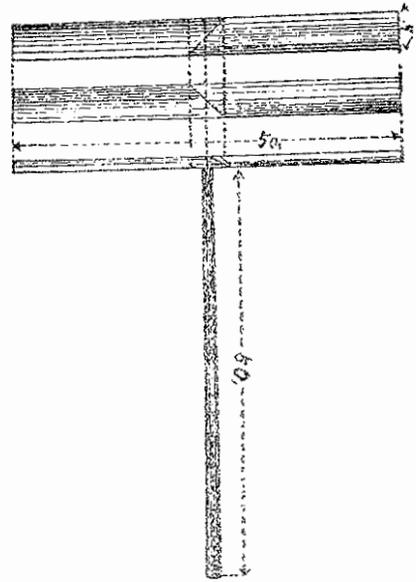


四七

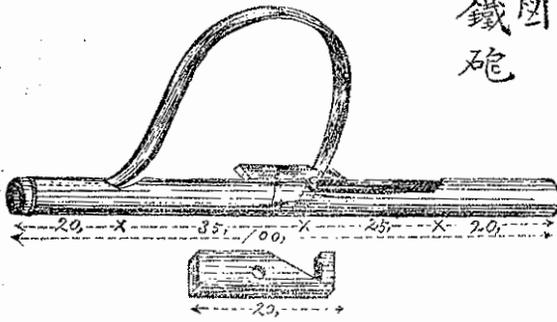
第二一圖 水鐵砲



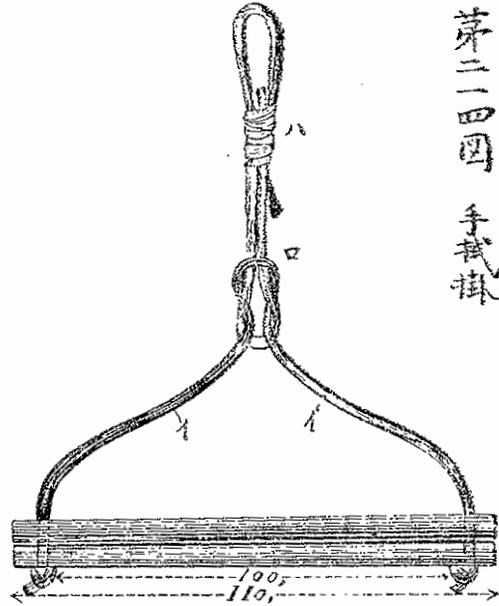
鈴蜻 圖三一 二第



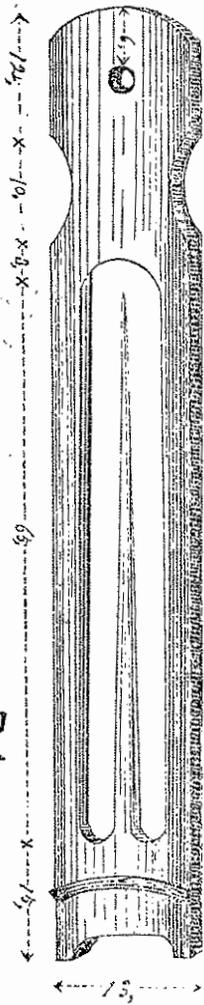
第二五圖
豆鐵砲



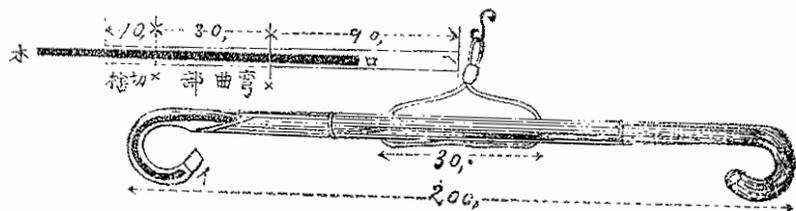
第二四圖
手拭掛



第二六圖
狀刺

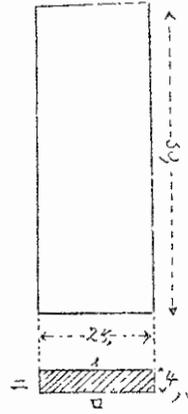


掛紋衣 圖七一 二第



第十二章 木工

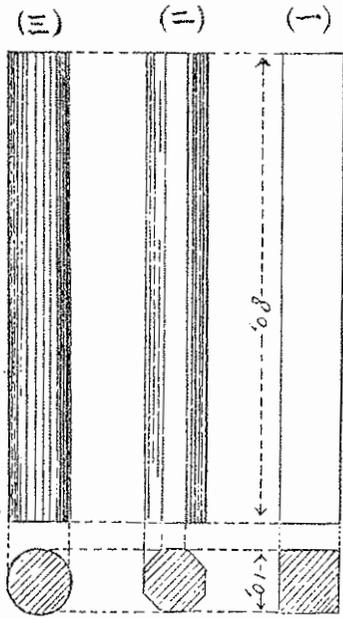
第二八四圖 門札



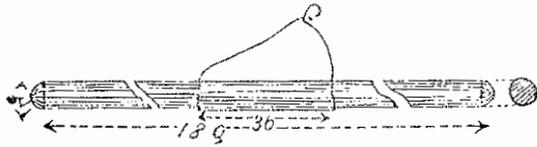
第二九四圖 方柱



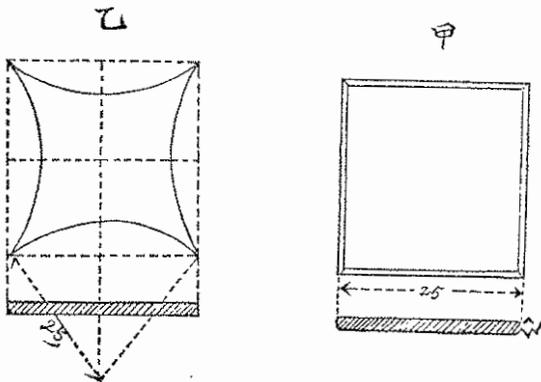
第三〇四圖 圓柱



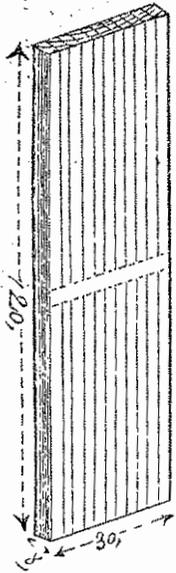
第三二二圖 第一二圖 衣紋竿



第三二二圖 第二二圖 絲卷

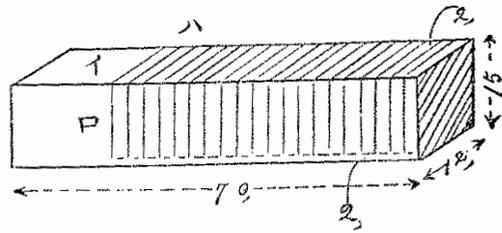


四九

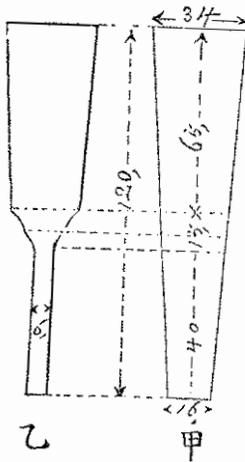


第三六圖 縱挽練習

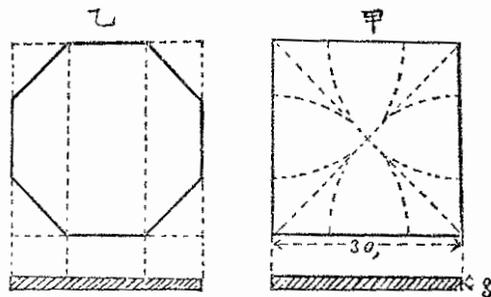
第四二二第 習練挽橫



敷瓶土 第四二二第



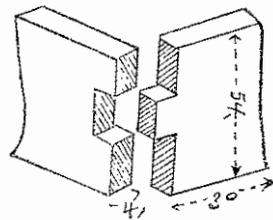
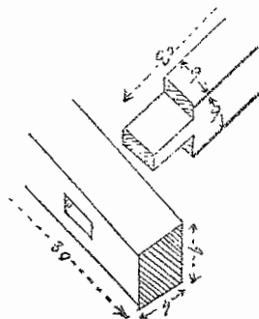
第三七圖 羽子板



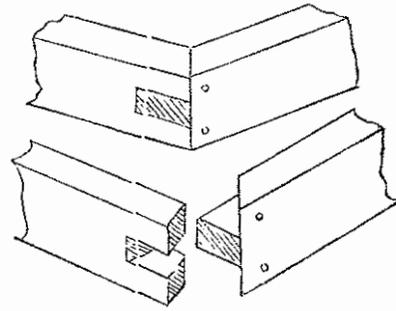
第四二二第 (帶枚三) 口指

第四二二第 (組枚三) 手組

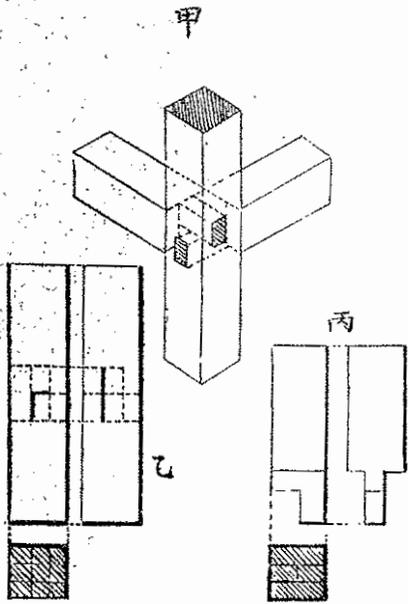
五〇



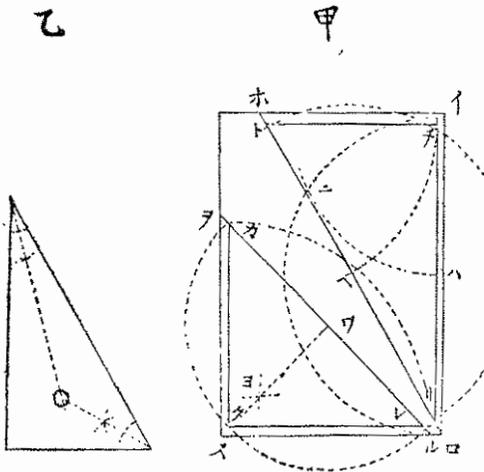
第九二第
(指留)口指



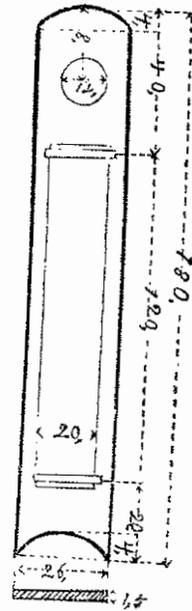
第三圖
指口(相缺帶)



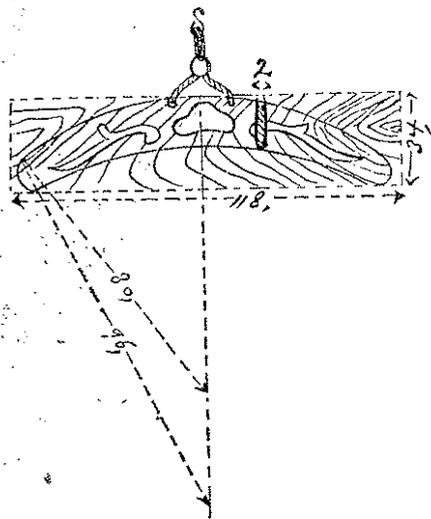
第二三二第
規定角三



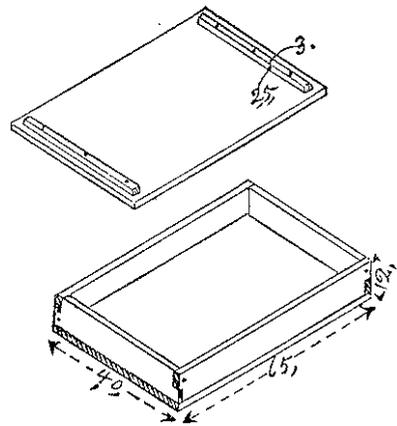
第三〇圖
短冊掛



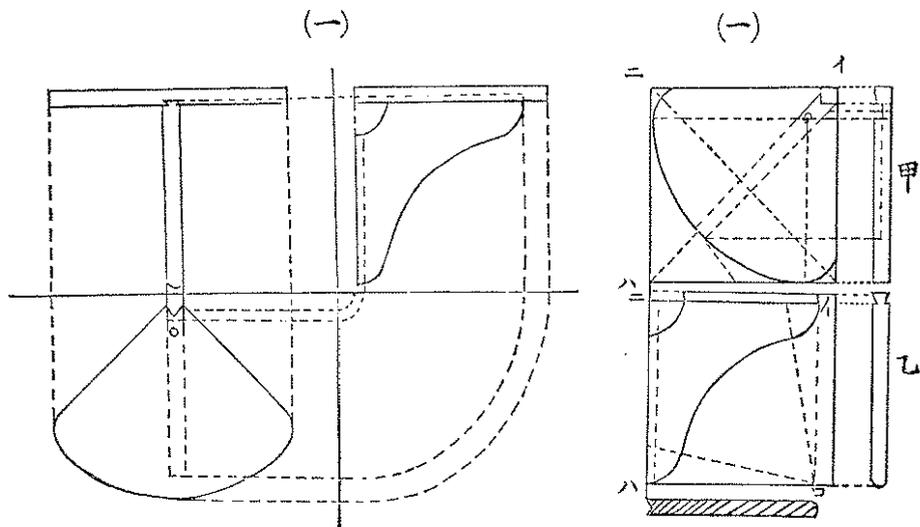
掛紋衣 圖四三二第



箱 硯 圖三三二第

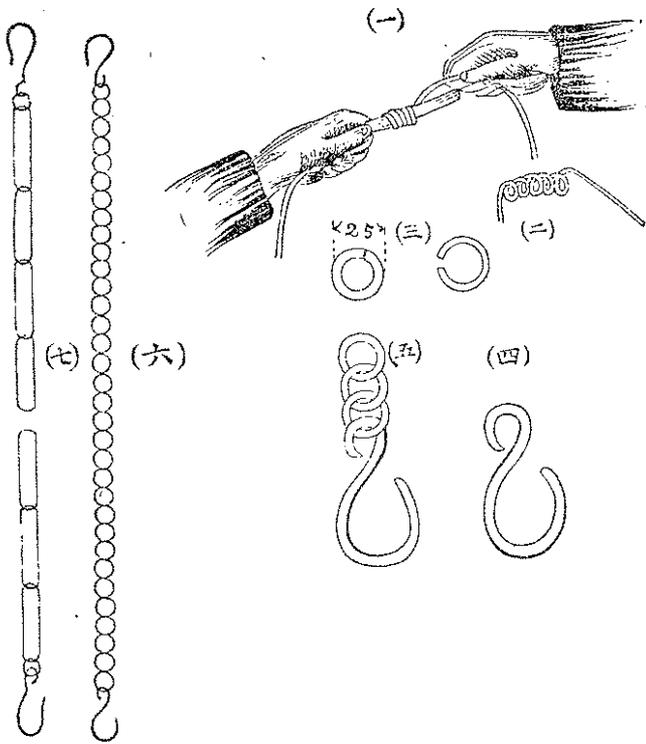


棚 懸 圖五三二第
尺縮一分十

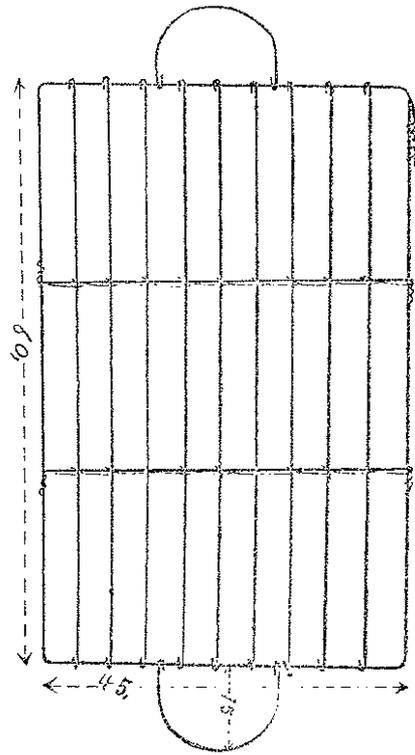


第十三章 金工

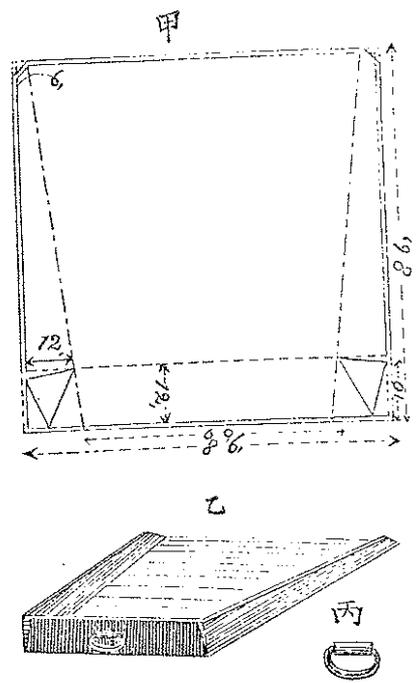
第三六回 鍊(銅線)



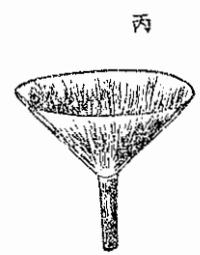
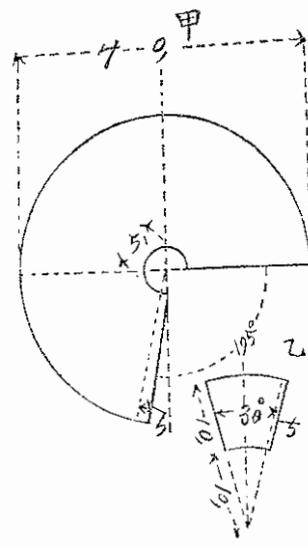
第三七回 渡網(鐵線)



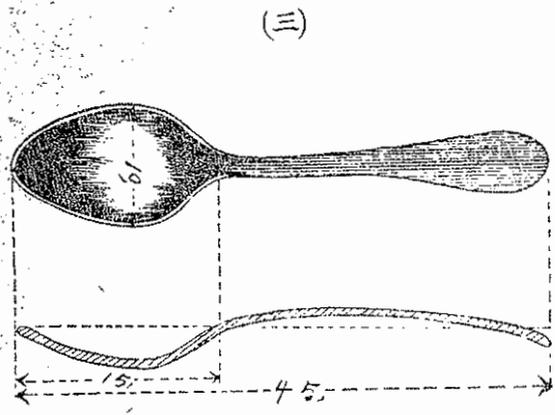
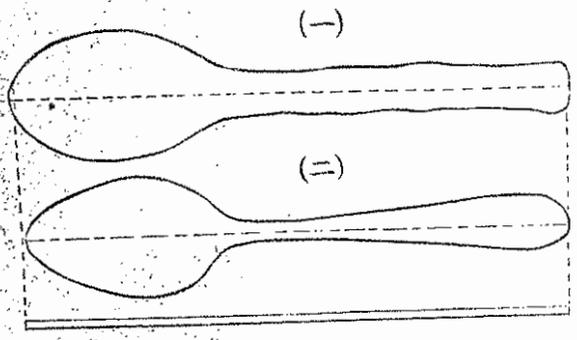
第三八回 塵取(ぶりき)



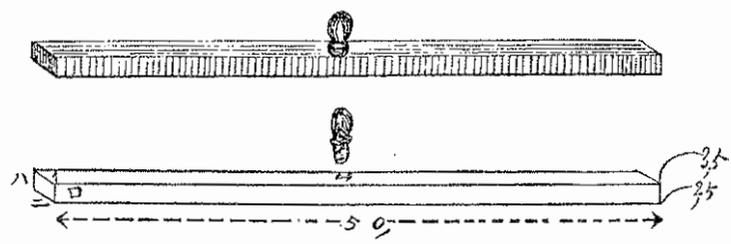
第三九回 漏斗 (ぶりき)



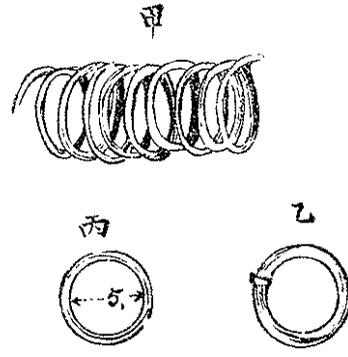
第二四〇回 匙 (真鍮)



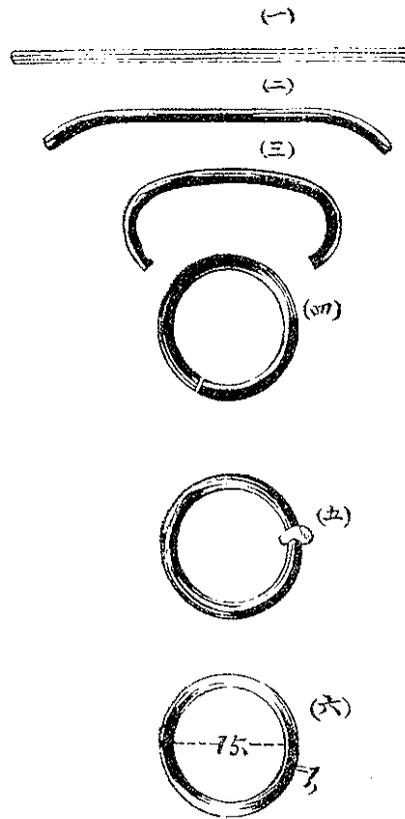
第二四一回 文鎮 (真鍮)



第二四四圖 銀鑷吹管附(真鍍線)



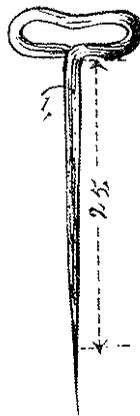
第二四三圖 真鍍鑷附(銅環)



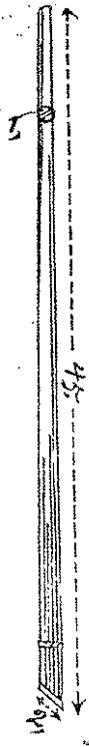
第二四四圖 小火箸(鐵線銅線卷)

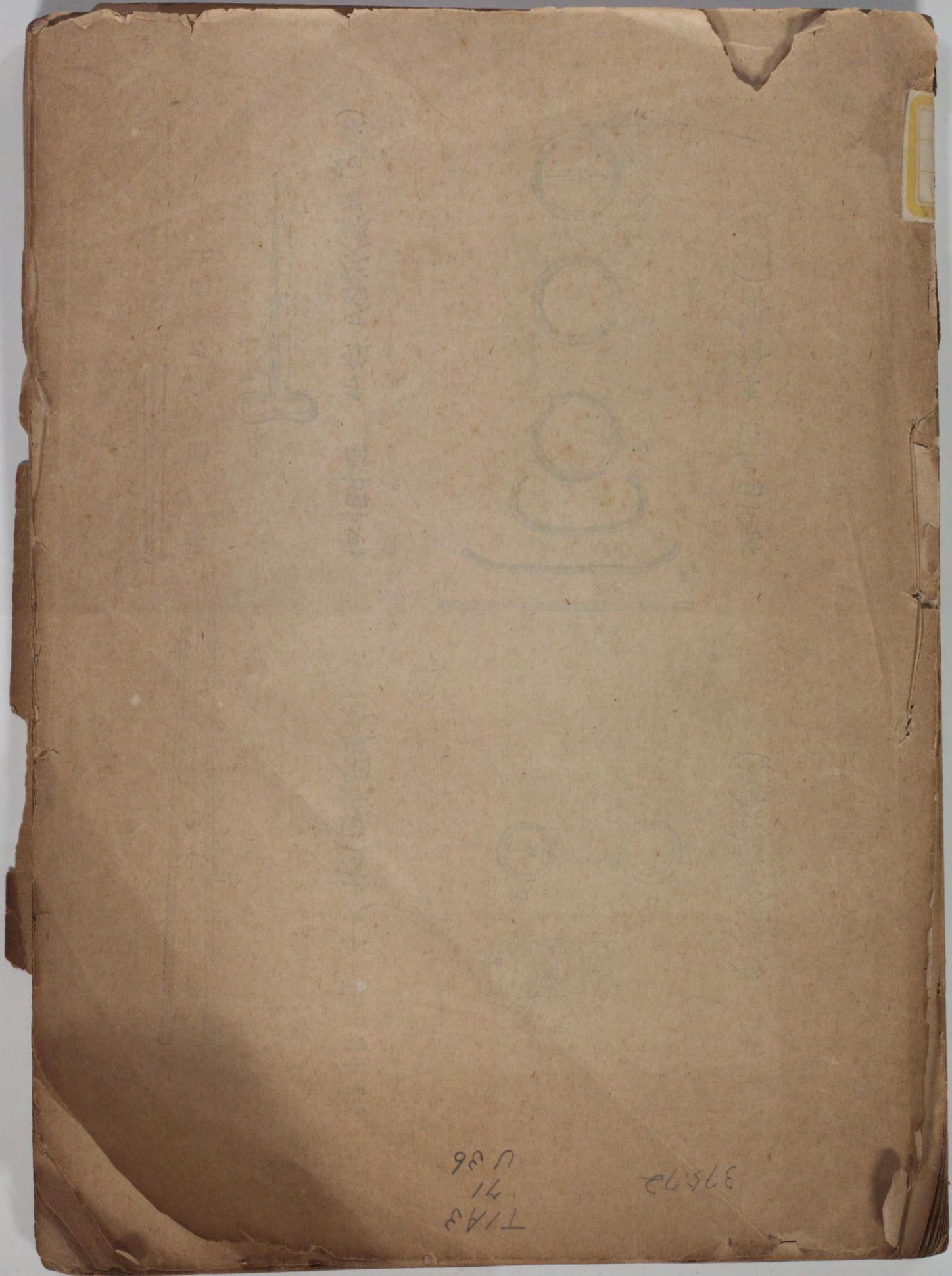


第二四五圖 手錐 叉物燒入練習(鋼線)



第五圖 印刀 同上





T/A 3
71
U 86

37572